

第6次時津町総合計画

まちづくり住民アンケート調査結果
報告書

令和7年1月

時津町

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査の方法と調査対象者.....	2
3. 配布と回収状況.....	2
4. 調査項目.....	2
5. 報告書を読むにあたって.....	3
第2章 調査結果	5
問1 回答者の属性.....	6
問2 時津町のイメージ.....	11
問3 時津町の住み良さ.....	12
問4 10年くらい前と比べた住み良さの変化.....	13
問5 地域の状況の変化.....	14
問6 定住意向.....	15
問6-1 移転したい理由.....	17
問7 望む町の将来像.....	20
問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野.....	23
問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野.....	26
問10 安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策.....	28
問11 老後への不安.....	30
問12 力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策.....	32
問13 生涯学習活動を充実するうえで重要なこと.....	34
問14 加入または所属している組織や団体.....	36
問15 地域や町内の活動や行事への参加程度.....	38
問16 まちづくりのために参加したい（できる）活動.....	39
問17 まちづくりへの参加方法.....	42
問18 行政運営に対する要望.....	44
問19 行政との協働活動の充実のために必要なこと.....	46
問20 郷土の誇りや宝（自由意見）.....	48
問21 第6次総合計画の施策に対する満足度.....	49
問22 まちづくりに対するアイデアや提案（自由意見）.....	52
第3章 資料編	57
1. 属性別クロス分析.....	58
2. 前回アンケート結果との比較分析.....	75

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第6次時津町総合計画」の策定にあたって、町民の方々に、まちづくりに関するご意見・ご要望等をお聞きし、計画策定のための基礎資料として活用するために実施したものです。

2. 調査の方法と調査対象者

調査対象者	20歳以上の住民から無作為に抽出
調査期間	令和6年8月5日～9月5日
調査方法	郵送による配布、郵送・Webによる回収

3. 配布と回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
5,000票	1,568票	31.4%

4. 調査項目

主な調査項目は次のとおりです。

設問の種類	主な調査項目	
属性	<input type="radio"/> 性別 <input type="radio"/> 職業 <input type="radio"/> 居住年数	<input type="radio"/> 年齢 <input type="radio"/> 居住地区
町の印象と定住意向	<input type="radio"/> 町のイメージ（現在と将来） <input type="radio"/> 地域の状況変化に対する評価	<input type="radio"/> 住み良さ（現在と過去との比較） <input type="radio"/> 定住意向と移転理由
力を入れるべき分野	<input type="radio"/> 地域産業 <input type="radio"/> 老後への不安点 <input type="radio"/> 生涯学習	<input type="radio"/> 安全なまちづくり <input type="radio"/> 高齢者の福祉・生きがい対策
地域活動団体	<input type="radio"/> 加入状況 <input type="radio"/> 参加したい活動内容	<input type="radio"/> 行政運営への要望
まちづくりへの意向	<input type="radio"/> 町政（まちづくり）への参加意向 <input type="radio"/> 協働推進のための方策	<input type="radio"/> 行政運営への要望
町の誇りや自慢	<input type="radio"/> 誇り・宝 <input type="radio"/> 利用するお土産品	<input type="radio"/> 案内する場所
第5次総計の施策評価	<input type="radio"/> 満足度	

5. 報告書を読むにあたって

- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数（nと表記）として、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答形式の場合は、全ての回答者が1つの回答しか選択しなかったという特殊な場合を除き、回答比率の合計が100%を超えます。
- ・表中の「全体」は回答者数となっており、複数回答の場合、回答数の合計とは異なります。
- ・原則として、設問毎に単純集計のグラフと年齢別クロス集計表を掲載し、その他の属性クロス集計（性別・職業別・居住地区別・居住年数別）については特徴がみられる場合のみ集計表を掲載しています。
- ・集計結果のグラフ・表における“無回答”とは、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答等）の件数（票数）を示しています。

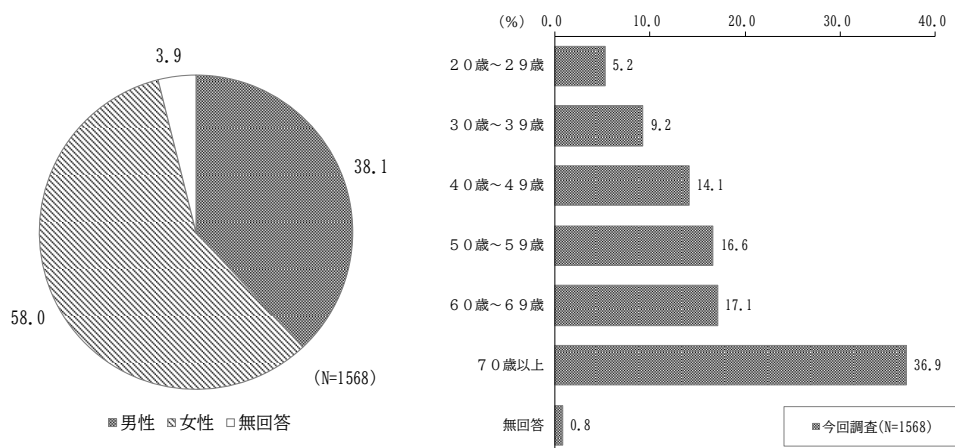
第2章 調査結果

問1 回答者の属性

① 性別

回答者の性別は、「男性」が38.1%、「女性」が58.0%と、女性の回答率が高くなっています。

回答者の年齢は、「70歳以上」が36.9%で最も高く、ついで「60歳～69歳」が17.1%、40歳代～50歳代はそれぞれ10%台、39歳以下は10%未満となっています。



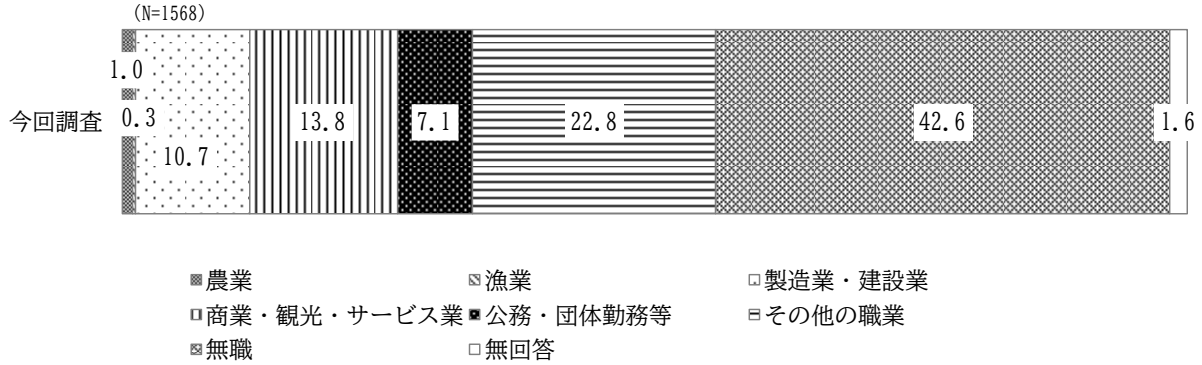
		(n=)	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	無回答
全体		1568	82	145	221	261	268	579	12
			5.2%	9.2%	14.1%	16.6%	17.1%	36.9%	0.8%
性別	男性	597	30	47	97	108	103	211	1
			5.0%	7.9%	16.2%	18.1%	17.3%	35.3%	0.2%
女性	女性	910	52	98	123	149	159	325	4
			5.7%	10.8%	13.5%	16.4%	17.5%	35.7%	0.4%

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目
(本報告書においては、以下同様)

※上段は回答者数、下段は構成比。以下同じ。

② 職業

回答者の職業は、「無職」(42.6%)が最も高く、「その他の職業」が22.8%、「商業・観光・サービス業」が13.8%となっています。



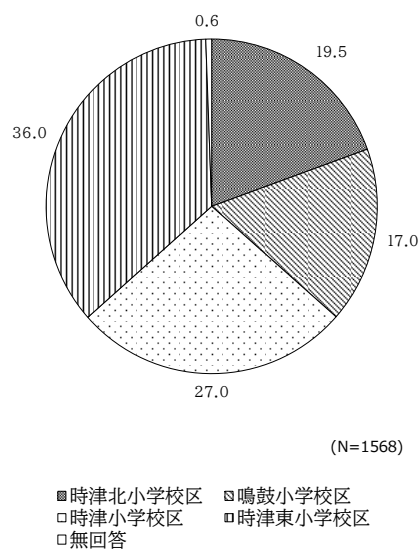
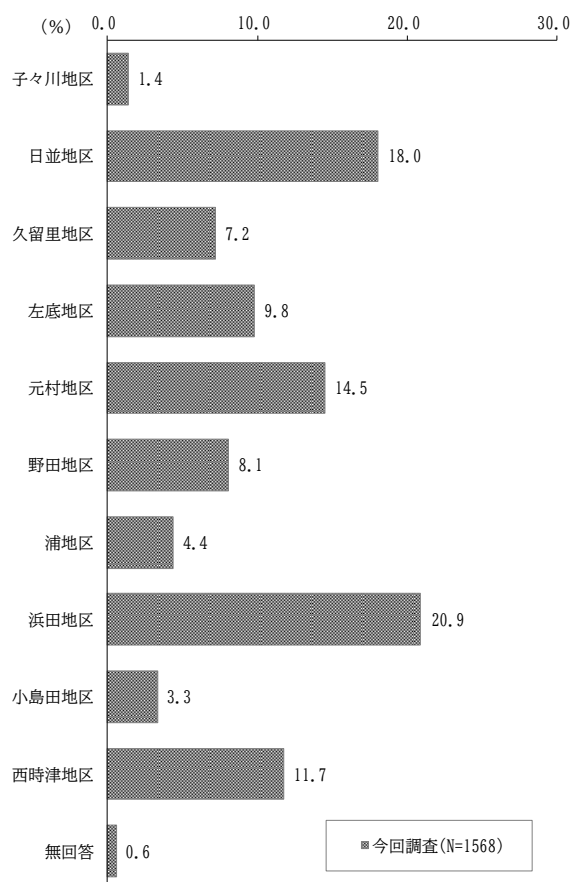
(回答は1つのみ)

		(n=)	農業	漁業	製造業・建設業	商業・観光・サービス業	公務・団体勤務等	その他の職業	無職	無回答
全体		1568	16	4	168	217	112	358	668	25
			1.0%	0.3%	10.7%	13.8%	7.1%	22.8%	42.6%	1.6%
年齢	20歳～29歳	82	0	1	13	20	13	25	9	1
			0.0%	1.2%	15.9%	24.4%	15.9%	30.5%	11.0%	1.2%
	30歳～39歳	145	1	1	25	25	17	57	17	2
			0.7%	0.7%	17.2%	17.2%	11.7%	39.3%	11.7%	1.4%
	40歳～49歳	221	0	0	43	39	34	79	23	3
			0.0%	0.0%	19.5%	17.6%	15.4%	35.7%	10.4%	1.4%
	50歳～59歳	261	1	1	45	60	30	92	27	5
			0.4%	0.4%	17.2%	23.0%	11.5%	35.2%	10.3%	1.9%
60歳～69歳	268	7	0	25	51	16	63	105	1	
		2.6%	0.0%	9.3%	19.0%	6.0%	23.5%	39.2%	0.4%	
70歳以上	579	7	1	17	21	2	40	483	8	
		1.2%	0.2%	2.9%	3.6%	0.3%	6.9%	83.4%	1.4%	

③ 居住地区

居住地区は、「浜田地区」が20.9%で最も高く、「日並地区」(18.0%)、「元村地区」(14.5%)、「西時津地区」(11.7%)が10%台で続いています。

4つの小学校区で見ると、「時津東小学校区」が36.6%、「時津小学校区」が27.0%、「時津北小学校区」が19.5%、「鳴鼓小学校区」が17.0%となっています。



(回答は1つのみ)

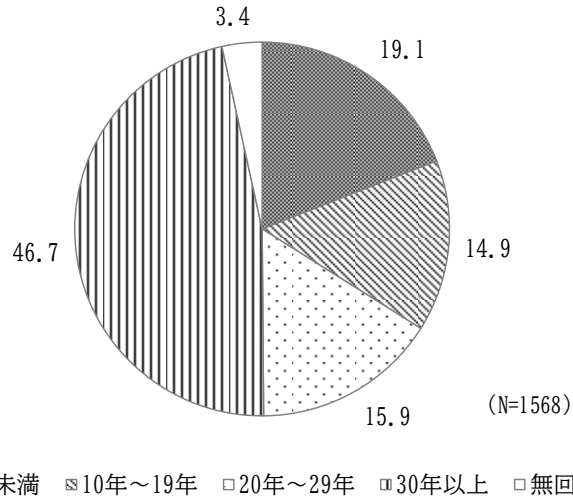
【居住地区】

		(n=)	子々川地区	日並地区	久留里地区	左底地区	元村地区	野田地区	浦地区	浜田地区	小島田地区	西時津地区	無回答
全体		1568	22 1.4%	283 18.0%	113 7.2%	154 9.8%	227 14.5%	127 8.1%	69 4.4%	328 20.9%	52 3.3%	184 11.7%	9 0.6%
年齢	20歳～29歳	82	0 0.0%	18 22.0%	9 11.0%	7 8.5%	14 17.1%	5 6.1%	0 0.0%	13 15.9%	1 1.2%	14 17.1%	1 1.2%
		145	1 0.7%	41 28.3%	10 6.9%	17 11.7%	13 9.0%	16 11.0%	1 0.7%	22 15.2%	2 1.4%	21 14.5%	1 0.7%
	40歳～49歳	221	2 0.9%	47 21.3%	23 10.4%	22 10.0%	27 12.2%	12 5.4%	10 4.5%	31 14.0%	10 4.5%	37 16.7%	0 0.0%
		261	6 2.3%	37 14.2%	13 5.0%	29 11.1%	34 13.0%	14 5.4%	15 5.7%	63 24.1%	11 4.2%	39 14.9%	0 0.0%
	60歳～69歳	268	4 1.5%	44 16.4%	18 6.7%	30 11.2%	51 19.0%	26 9.7%	15 5.6%	54 20.1%	3 1.1%	23 8.6%	0 0.0%
		70歳以上	579	9 1.6%	94 16.2%	39 6.7%	48 8.3%	87 15.0%	53 9.2%	28 4.8%	145 25.0%	25 4.3%	49 8.5%

④ 居住年数

居住年数は、「30年以上」が46.7%で最も高く、ついで「10年未満」が19.1%、「20年～29年」が15.9%、「10年～19年」が14.9%となっています。

年齢別にみると、20歳代では「10年未満」(47.6%)、30歳代では「10年未満」(61.4%)、40歳代では「10～19年」(28.1%)、50歳代では「30年以上」(34.5%)、60歳代では「30年以上」(56.7%)、70歳以上では「30年以上」(70.6%)が最も高くなっています。



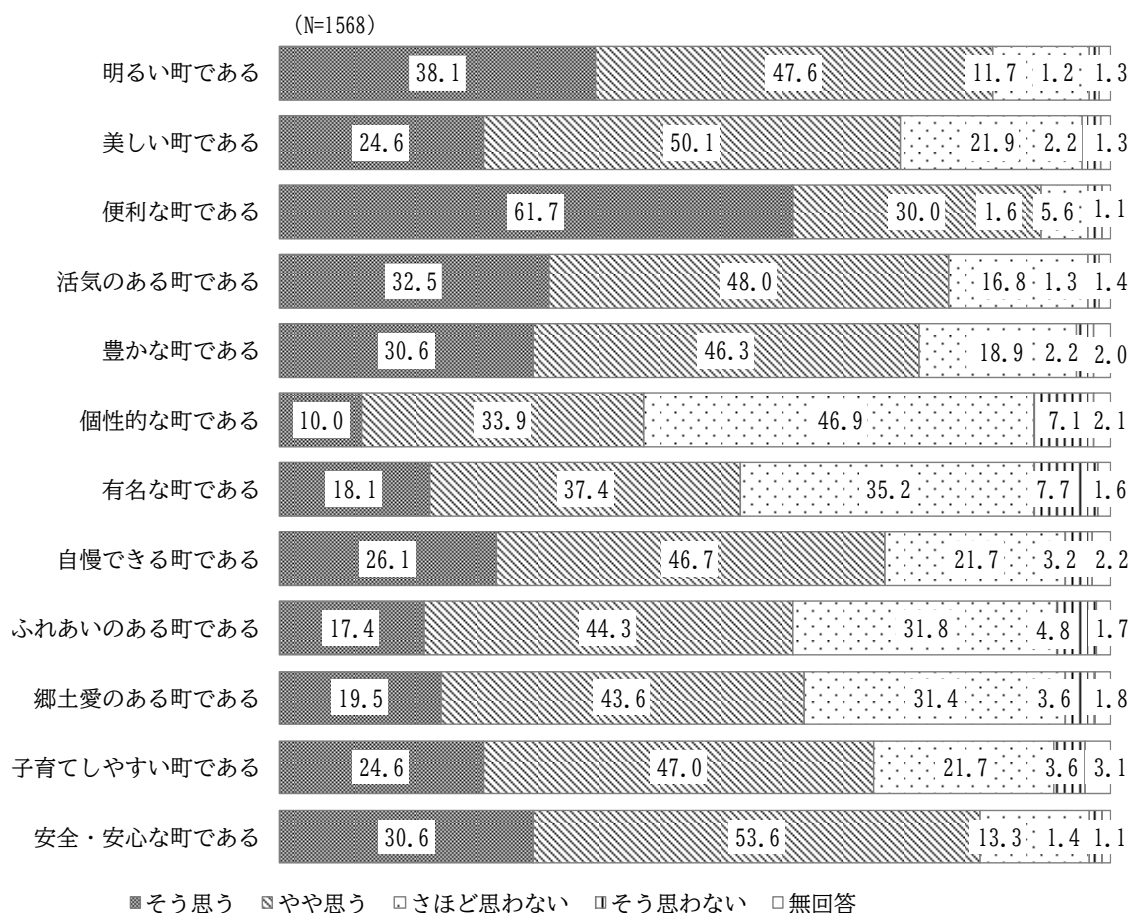
(回答は1つのみ)

		(n=)	10年未満	10年～19年	20年～29年	30年以上	無回答
全体		1568	299	233	250	732	54
			19.1%	14.9%	15.9%	46.7%	3.4%
年齢	20歳～29歳	82	39	16	26	0	1
			47.6%	19.5%	31.7%	0.0%	1.2%
	30歳～39歳	145	89	20	15	18	3
			61.4%	13.8%	10.3%	12.4%	2.1%
	40歳～49歳	221	60	62	35	58	6
			27.1%	28.1%	15.8%	26.2%	2.7%
	50歳～59歳	261	39	59	71	90	2
		14.9%	22.6%	27.2%	34.5%	0.8%	
60歳～69歳	268	29	36	45	152	6	
		10.8%	13.4%	16.8%	56.7%	2.2%	
70歳以上	579	43	40	56	409	31	
		7.4%	6.9%	9.7%	70.6%	5.4%	

問2 時津町のイメージ

時津町のイメージについては、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合を合わせると、“便利な町である”が91.7%で最も高く、ついで“明るい町である”が85.8%、“安心・安全な町である”が84.2%と続いています。

一方、“個性的な町である”“有名な町である”の2項目は、「さほど思わない」「そう思わない」と回答した人の割合が高くなっています。



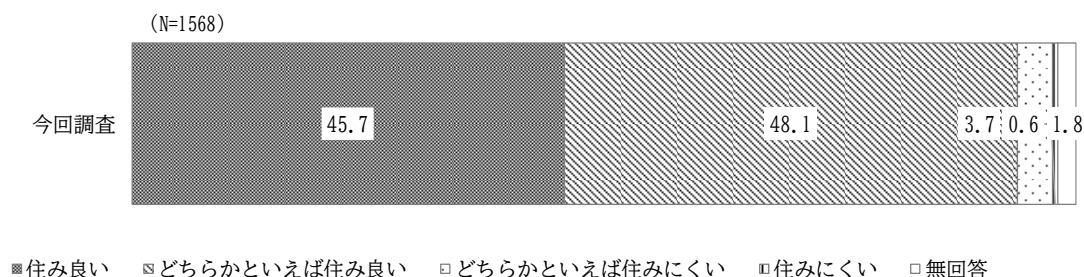
(それぞれ回答は1つのみ)

問3 時津町の住み良さ

時津町の住み良さについては、「住み良い」(45.7%)、「どちらかといえば住み良い」(48.1%)を合わせると、93.8%の人が“住み良い”と評価しています。

前回調査と比較して、「住み良い」が7.7%増加し、“住み良い”の評価が2.3%増加しています。

年齢別にみると、「20歳～29歳」と「30歳～39歳」で「住み良い」が半数を超えて他の年齢層よりも高くなっています。



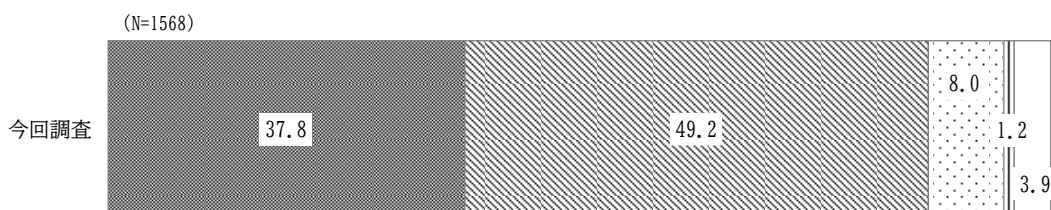
(回答は1つのみ)

		(n=)	住み良い	住みどちらかといえば	住みどちらかといえば	住みにくい	無回答	住み良い・計	住みにくい・計
全体		1568	717	754	58	10	29	1471	68
			45.7%	48.1%	3.7%	0.6%	1.8%	93.8%	4.3%
年齢	20歳～29歳	82	44	32	5	1	0	76	6
			53.7%	39.0%	6.1%	1.2%	-	92.7%	7.3%
	30歳～39歳	145	74	67	3	0	1	141	3
			51.0%	46.2%	2.1%	-	0.7%	97.2%	2.1%
	40歳～49歳	221	103	105	8	4	1	208	12
			46.6%	47.5%	3.6%	1.8%	0.5%	94.1%	5.4%
	50歳～59歳	261	114	134	8	3	2	248	11
		43.7%	51.3%	3.1%	1.1%	0.8%	95.0%	4.2%	
60歳～69歳	268	123	132	9	0	4	255	9	
		45.9%	49.3%	3.4%	-	1.5%	95.1%	3.4%	
70歳以上	579	255	278	24	2	20	533	26	
		44.0%	48.0%	4.1%	0.3%	3.5%	92.1%	4.5%	

問4 10年くらい前と比べた住み良さの変化

住み良さの変化については、「かなり住み良くなった」(37.8%)、「やや住み良くなった」(49.2%)を合わせると、86.9%の人が“住み良くなった”と評価しています。

年齢別にみると、「20歳～29歳」と「30歳～39歳」で“住み良くなった”が9割を超え、40歳以上よりも評価が高くなっています。



■かなり住み良くなった □やや住み良くなった □やや住みにくくなった □かなり住みにくくなった □無回答

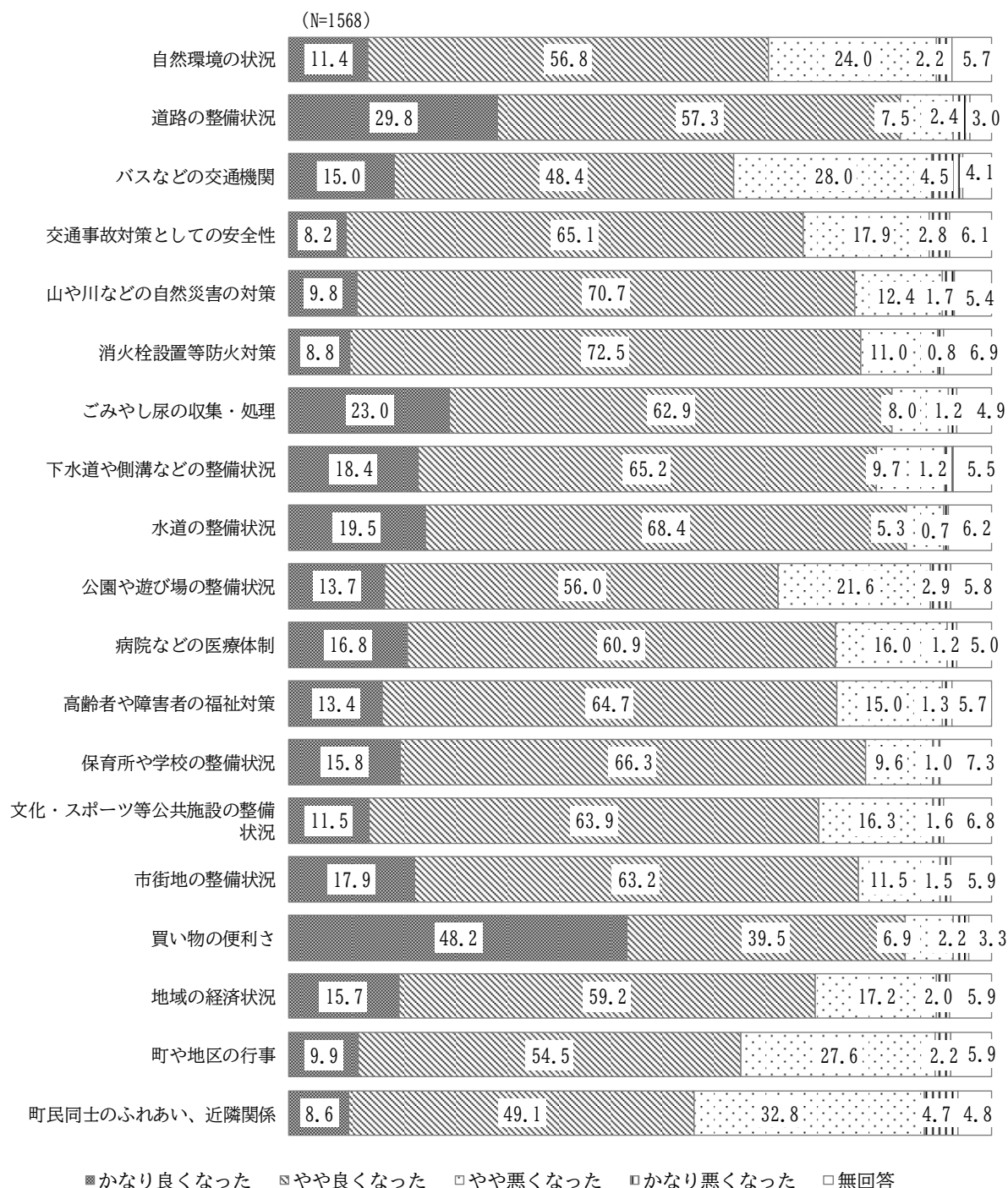
(回答は1つのみ)

		(n=)	かなり住み良くなった	やや住み良くなった	やや住みにくくなった	かなり住みにくくなった	無回答	住み良くなった・計	住みにくくなった・計
全体		1568	592	771	125	19	61	1363	144
			37.8%	49.2%	8.0%	1.2%	3.9%	86.9%	9.2%
年齢	20歳～29歳	82	43	33	2	1	3	76	3
			52.4%	40.2%	2.4%	1.2%	3.7%	92.7%	3.7%
	30歳～39歳	145	60	75	5	1	4	135	6
			41.4%	51.7%	3.4%	0.7%	2.8%	93.1%	4.1%
	40歳～49歳	221	71	124	20	2	4	195	22
			32.1%	56.1%	9.0%	0.9%	1.8%	88.2%	10.0%
	50歳～59歳	261	78	150	20	3	10	228	23
		29.9%	57.5%	7.7%	1.1%	3.8%	87.4%	8.8%	
60歳～69歳	268	85	145	30	2	6	230	32	
		31.7%	54.1%	11.2%	0.7%	2.2%	85.8%	11.9%	
70歳以上	579	251	239	48	9	32	490	57	
		43.4%	41.3%	8.3%	1.6%	5.5%	84.6%	9.8%	

問5 地域の状況の変化

地域の状況の変化については、いずれの項目も高い評価を得ています。その中でも“買い物の便利さ”については48.2%の人が「かなり良くなった」と回答しています。

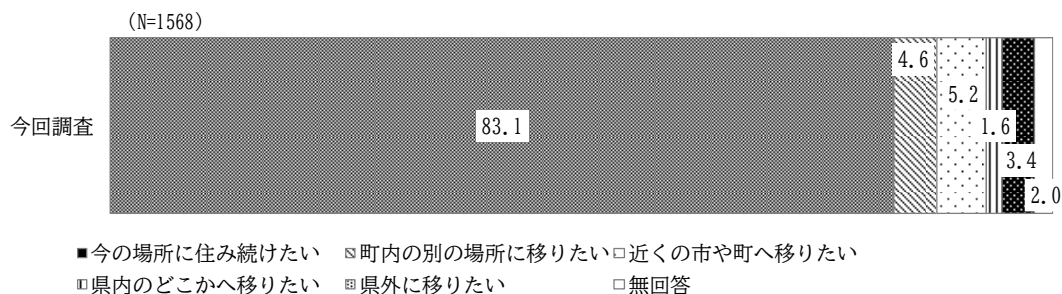
一方、“町民同士のふれあい、近隣関係”“バス等の交通機関”“町や地区の行事”については、「かなり良くなった」「やや良くなった」と回答した人の割合が、他の項目に比べてやや低くなっています。



(それぞれ回答は1つのみ)

問6 定住意向

定住意向については、「今の場所に住み続けたい」と回答する人が83.1%を占めています。



(回答は1つのみ)

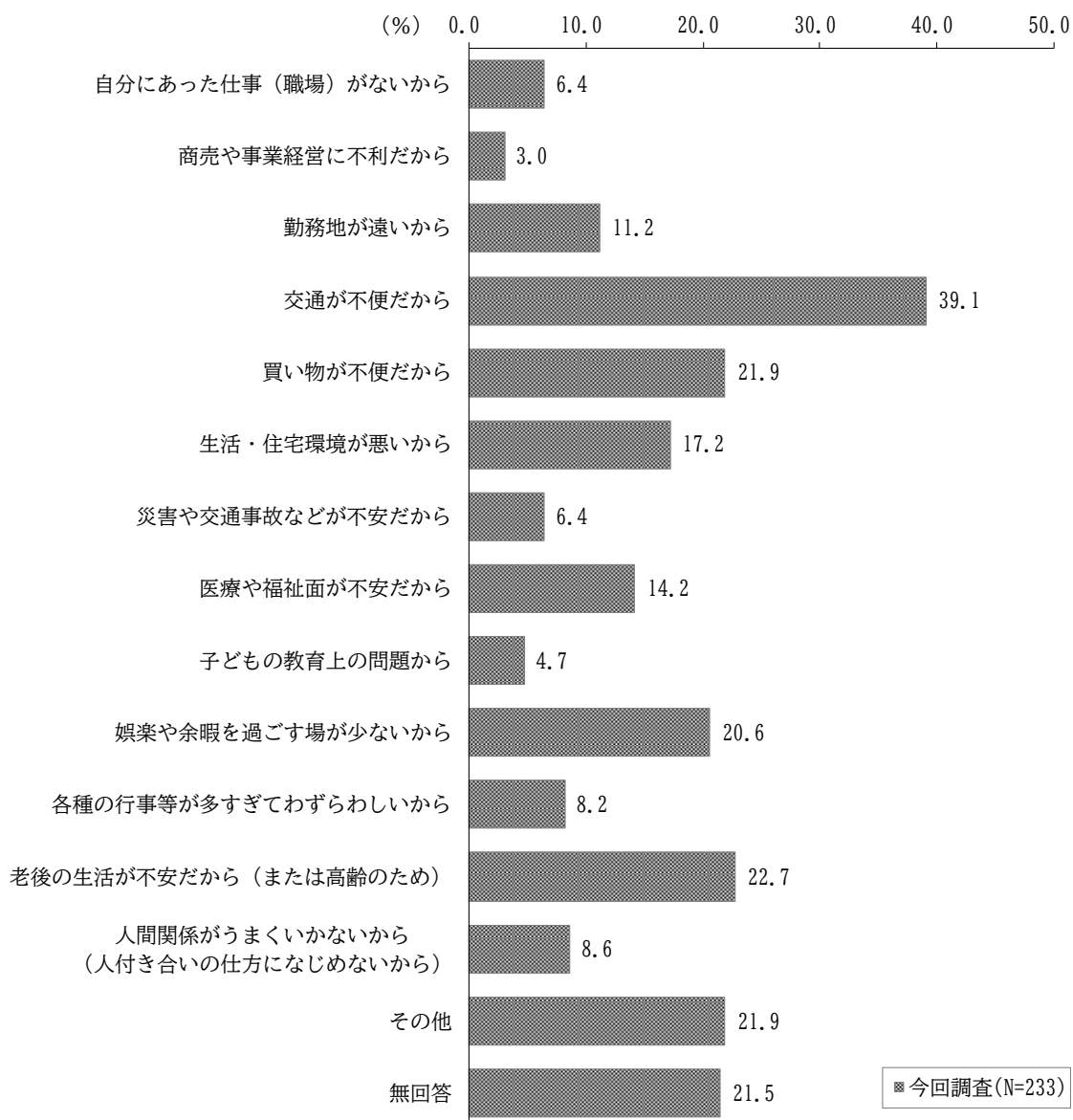
		(n=)	今の場所に住み続けたい	町内の別の場所に移りたい	近くの市や町へ移りたい	県内のどこかへ移りたい	県外に移りたい	無回答	住み続けたい・計	他へ移りたい・計
全体		1568	1303	72	82	25	54	32	1303	233
			83.1%	4.6%	5.2%	1.6%	3.4%	2.0%	83.1%	14.9%
年齢	20歳～29歳	82	58	5	8	3	7	1	58	23
			70.7%	6.1%	9.8%	3.7%	8.5%	1.2%	70.7%	28.0%
	30歳～39歳	145	117	7	11	1	8	1	117	27
			80.7%	4.8%	7.6%	0.7%	5.5%	0.7%	80.7%	18.6%
	40歳～49歳	221	180	12	9	3	16	1	180	40
			81.4%	5.4%	4.1%	1.4%	7.2%	0.5%	81.4%	18.1%
	50歳～59歳	261	201	9	25	6	16	4	201	56
			77.0%	3.4%	9.6%	2.3%	6.1%	1.5%	77.0%	21.5%
60歳～69歳	268	224	16	16	4	5	3	224	41	
		83.6%	6.0%	6.0%	1.5%	1.9%	1.1%	83.6%	15.3%	
70歳以上	579	514	22	12	8	2	21	514	44	
		88.8%	3.8%	2.1%	1.4%	0.3%	3.6%	88.8%	7.6%	

【移転希望先】

選択肢	具体例
町内の別の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・記入があったのは 53 件 ・「スーパー等買い物に便利な場所」が 3 件、「国道・バス停の近く」が 2 件 ・具体的な地名では「浦」「野田」（各 11 件）、「浜田」「日並」（各 10 件）、「元村」（5 件）等があげられています
近くの市や町	<ul style="list-style-type: none"> ・記入があったのは 73 件 ・具体的地名で最も多かったのは「長崎市」で 60 件 ・ついで「長与町」（5 件）、「大村市」（4 件）、「諫早市」（3 件）等があげられています
県内	<ul style="list-style-type: none"> ・記入があったのは 17 件 ・具体的地名では「大村市」（7 件）、「長崎市」（5 件）等があげられています
県外	<ul style="list-style-type: none"> ・記入があったのは 46 件 ・具体的地名では最も多かったのは「福岡県」で 34 件 ・ついで「大分県」「東京都」（各 3 件）等があげられています

問6-1 移転したい理由

移転したい理由としては、「交通が不便だから」が39.1%で最も高く、ついで「老後の生活が不安だから（または高齢のため）」が22.7%、「買い物が不便だから」が21.9%となっています。

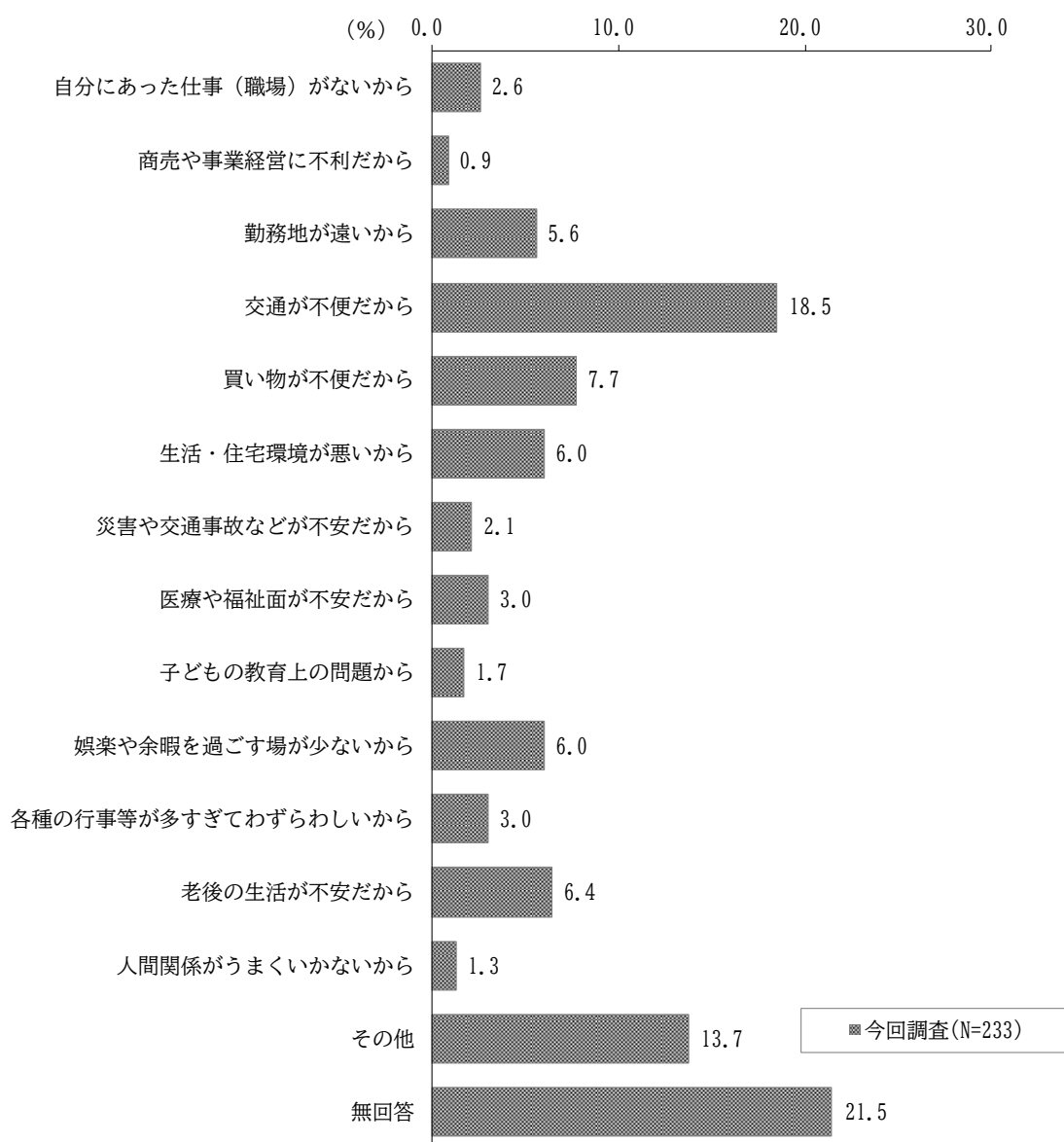


(回答は3つまで)

		(n=)	自分にあつた仕事 (職場)がないから	商売や事業経営に 不利だから	勤務地が遠いから	交通が不便だから	買い物が不便だから	生活・住宅環境が 悪いから	災害や交通事故などが 不安だから	医療や福祉面が 不安だから	子どもの教育上の 問題から	少ない余暇を過ごす場が 少ないから	各種の行事等が多すぎて わづらわしいから
全体		233	15 6.4%	7 3.0%	26 11.2%	91 39.1%	51 21.9%	40 17.2%	15 6.4%	33 14.2%	11 4.7%	48 20.6%	19 8.2%
年齢	20歳～29歳	23	3 13.0%	1 4.3%	6 26.1%	14 60.9%	6 26.1%	7 30.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 47.8%	0 0.0%
	30歳～39歳	27	2 7.4%	1 3.7%	6 22.2%	12 44.4%	1 3.7%	6 22.2%	3 11.1%	4 14.8%	6 22.2%	5 18.5%	2 7.4%
	40歳～49歳	40	7 17.5%	3 7.5%	4 10.0%	15 37.5%	7 17.5%	5 12.5%	2 5.0%	6 15.0%	5 12.5%	12 30.0%	4 10.0%
	50歳～59歳	56	2 3.6%	2 3.6%	7 12.5%	24 42.9%	14 25.0%	9 16.1%	0 0.0%	8 14.3%	0 0.0%	11 19.6%	8 14.3%
	60歳～69歳	41	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	8 19.5%	4 9.8%	4 9.8%	7 17.1%	9 22.0%	0 0.0%	5 12.2%	2 4.9%
	70歳以上	44	1 2.3%	0 0.0%	2 4.5%	18 40.9%	17 38.6%	8 18.2%	2 4.5%	6 13.6%	0 0.0%	4 9.1%	3 6.8%

		(n=)	老後の生活が不安だから	人間関係がないから	その他	無回答
全体		233	53 22.7%	20 8.6%	51 21.9%	50 21.5%
年齢	20歳～29歳	23	0 0.0%	1 4.3%	7 30.4%	1 4.3%
	30歳～39歳	27	0 0.0%	2 7.4%	8 29.6%	4 14.8%
	40歳～49歳	40	4 10.0%	4 10.0%	11 27.5%	4 10.0%
	50歳～59歳	56	12 21.4%	4 7.1%	12 21.4%	14 25.0%
	60歳～69歳	41	12 29.3%	6 14.6%	5 12.2%	16 39.0%
	70歳以上	44	23 52.3%	3 6.8%	8 18.2%	11 25.0%

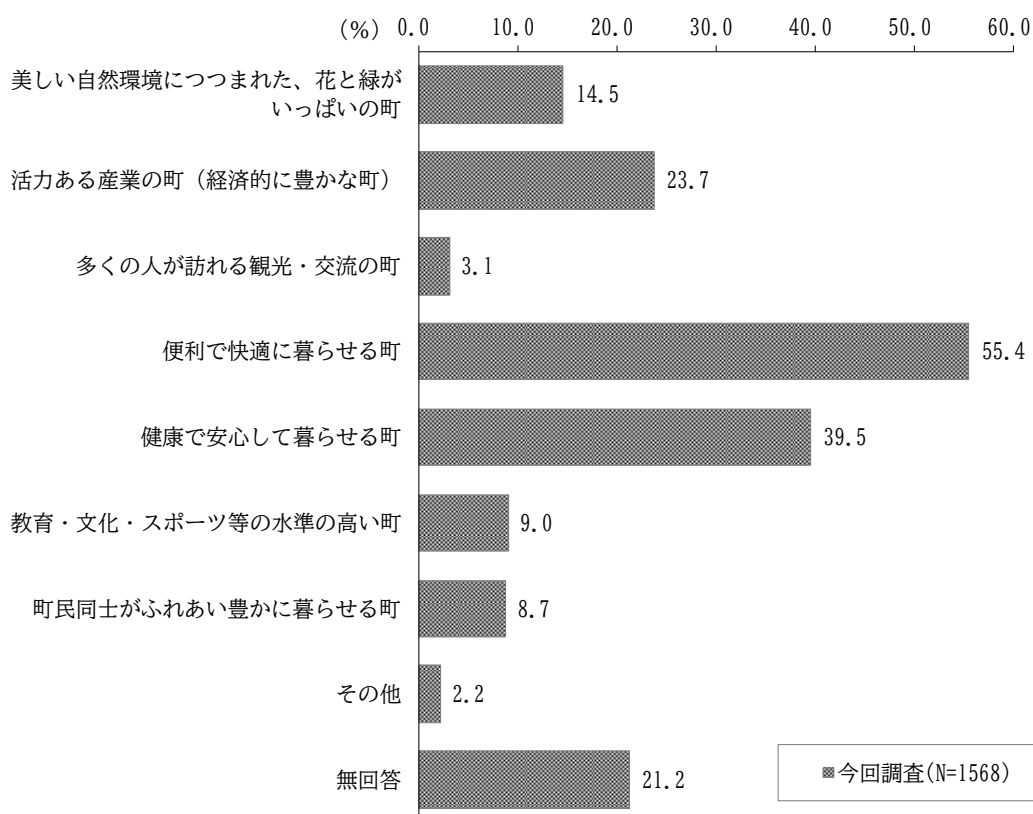
【移転したい理由：第1位】



問7 望む町の将来像

将来の時津町に望むイメージについては、「便利で快適に暮らせる町」が55.4%で最も高く、ついで「健康で安心して暮らせる町」が39.5%と続いています。

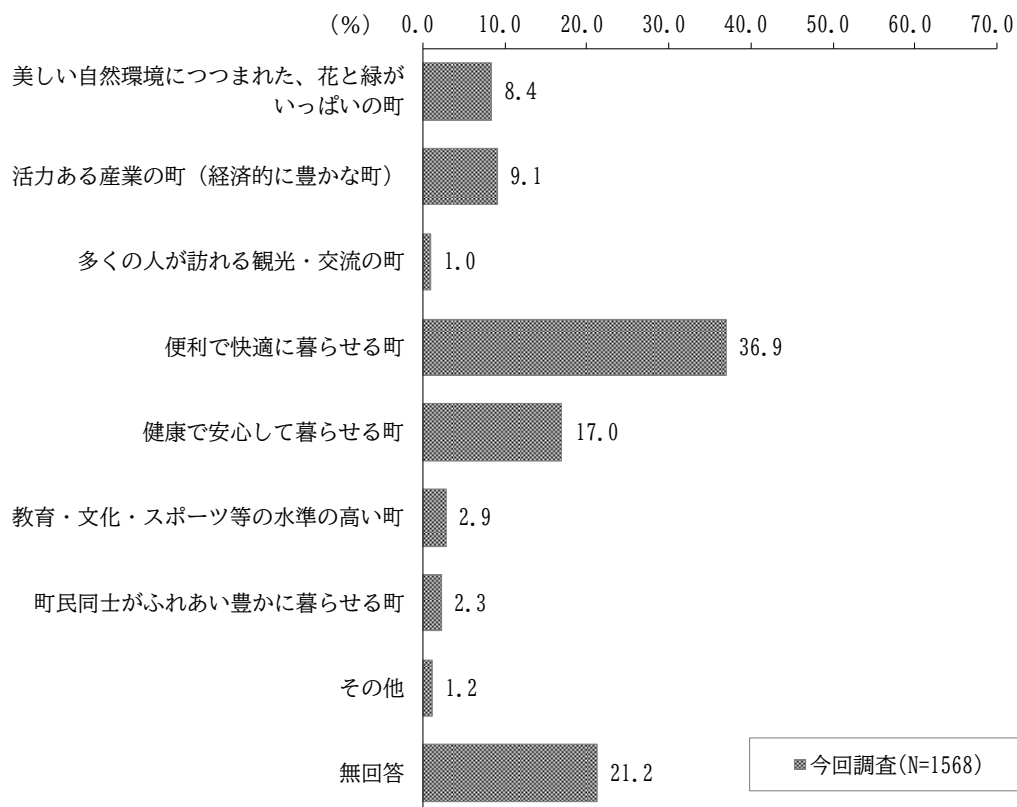
年齢別にみると、「20歳～29歳」と「40～49歳」では「活力のある産業の町（経済的に豊かな町）」、「60歳～69歳」では「健康で安心して暮らせる町」が他の年齢層よりも高くなっています。



(回答は2つまで)

		(n=)	の町 美しい自然環境に 花と緑がいつま ぱい	的活 力ある産業の町 (経済的に豊かな町)	多 くの人が訪れる 観光・交流の町	便 利で快適に暮ら せる町	町健 康で安心して暮 らせる	の教 育・文化・スポ ーツ等の水準の 高い町	に町 民同士がふれあ い豊かに暮らせ る町	そ の他	無 回 答
全体		1568	228 14.5%	371 23.7%	48 3.1%	869 55.4%	619 39.5%	141 9.0%	137 8.7%	34 2.2%	332 21.2%
年齢	20歳～29歳	82	11 13.4%	28 34.1%	7 8.5%	59 72.0%	21 25.6%	15 18.3%	7 8.5%	3 3.7%	6 7.3%
		145	17 11.7%	42 29.0%	7 4.8%	103 71.0%	42 29.0%	22 15.2%	6 4.1%	6 4.1%	19 13.1%
	40歳～49歳	221	25 11.3%	77 34.8%	5 2.3%	141 63.8%	80 36.2%	29 13.1%	8 3.6%	8 3.6%	33 14.9%
		261	29 11.1%	61 23.4%	5 1.9%	156 59.8%	105 40.2%	21 8.0%	13 5.0%	5 1.9%	61 23.4%
	60歳～69歳	268	42 15.7%	48 17.9%	5 1.9%	150 56.0%	139 51.9%	14 5.2%	15 5.6%	6 2.2%	56 20.9%
		70歳以上	579	103 17.8%	114 19.7%	19 3.3%	256 44.2%	228 39.4%	40 6.9%	86 14.9%	6 1.0%

【望む町の将来像：第1位】

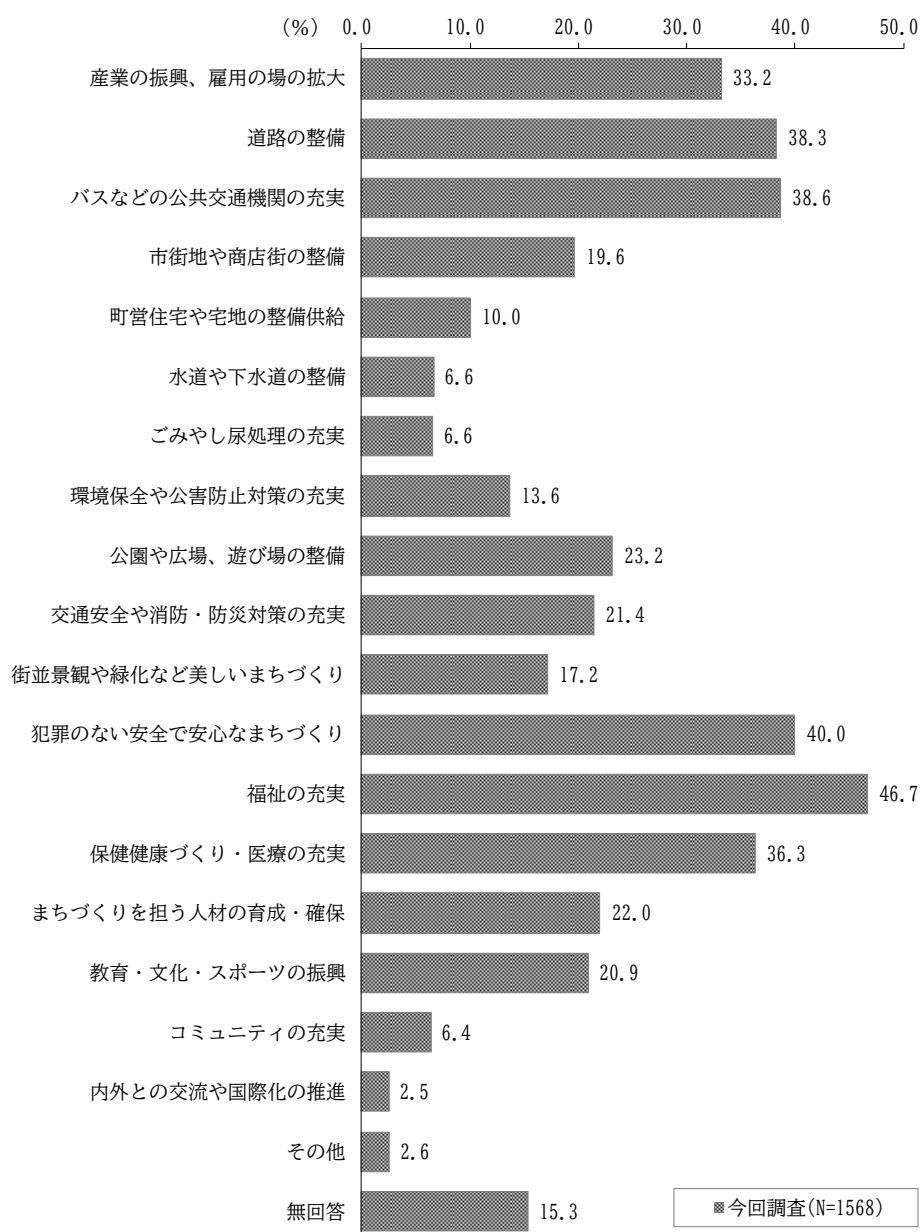


問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野については、「福祉の充実」が46.7%で最も高く、ついで「犯罪のない安全で安心なまちづくり」が40.0%、「バス等の公共交通機関の充実」が38.6%で続いています。

優先順位をみると、「道路の整備」を第1位にあげる人の割合が15.7%で最も高くなっています。ついで「福祉の充実」(13.4%)、「バス等の公共交通機関の充実」(11.9%)と続いています。

年齢別にみると、49歳以下で「道路の整備」、居住地区別でみると、「日並地区」と「左底地区」で「バス等の公共交通機関の充実」の割合が最も高くなっています。



(回答は5つまで)

		(n=)	産業の振興、雇用の場の拡大	道路の整備	バスなどの公共交通機関の充実	市街地や商店街の整備	給・町営住宅や宅地の整備	水道や下水道の整備	ごみやし尿処理の充実	環境保全や公害防止対策の充実	公園や広場、遊び場の整備	交通安全や消防・防災対策の充実	街並み景観や緑化など美しいまちづくり
全体		1568	520	600	606	308	157	104	103	214	363	336	269
			33.2%	38.3%	38.6%	19.6%	10.0%	6.6%	6.6%	13.6%	23.2%	21.4%	17.2%
年齢	20歳～29歳	82	27	37	35	28	19	6	8	4	31	16	18
			32.9%	45.1%	42.7%	34.1%	23.2%	7.3%	9.8%	4.9%	37.8%	19.5%	22.0%
	30歳～39歳	145	44	76	54	37	9	7	12	18	70	36	20
			30.3%	52.4%	37.2%	25.5%	6.2%	4.8%	8.3%	12.4%	48.3%	24.8%	13.8%
	40歳～49歳	221	94	112	88	47	23	15	16	30	81	53	32
			42.5%	50.7%	39.8%	21.3%	10.4%	6.8%	7.2%	13.6%	36.7%	24.0%	14.5%
	50歳～59歳	261	99	116	112	57	26	18	15	36	38	56	50
			37.9%	44.4%	42.9%	21.8%	10.0%	6.9%	5.7%	13.8%	14.6%	21.5%	19.2%
	60歳～69歳	268	88	95	104	47	31	26	11	39	49	64	44
			32.8%	35.4%	38.8%	17.5%	11.6%	9.7%	4.1%	14.6%	18.3%	23.9%	16.4%
	70歳以上	579	166	161	206	91	47	31	41	86	92	109	104
			28.7%	27.8%	35.6%	15.7%	8.1%	5.4%	7.1%	14.9%	15.9%	18.8%	18.0%

		(n=)	まちづくり安全で安心なまちづくり	福祉の充実	保健健康づくり・医療の充実	育成・確保	まちづくりを担う人材の育成	教育・文化・スポーツの振興	地域活動、集会施設など	コミュニケーションの充実（地域）	内外との交流や国際化の推進	その他	無回答
全体		1568	627	732	569	345	327	100	39	40	240		
			40.0%	46.7%	36.3%	22.0%	20.9%	6.4%	2.5%	2.6%	15.3%		
年齢	20歳～29歳	82	28	14	20	19	26	5	4	8	8		
			34.1%	17.1%	24.4%	23.2%	31.7%	6.1%	4.9%	9.8%	9.8%		
	30歳～39歳	145	60	47	36	25	46	15	4	8	11		
			41.4%	32.4%	24.8%	17.2%	31.7%	10.3%	2.8%	5.5%	7.6%		
	40歳～49歳	221	80	80	69	42	62	13	7	5	22		
			36.2%	36.2%	31.2%	19.0%	28.1%	5.9%	3.2%	2.3%	10.0%		
	50歳～59歳	261	87	122	87	66	58	12	1	8	40		
		33.3%	46.7%	33.3%	25.3%	22.2%	4.6%	0.4%	3.1%	15.3%			
60歳～69歳	268	118	152	114	53	40	20	5	4	38			
		44.0%	56.7%	42.5%	19.8%	14.9%	7.5%	1.9%	1.5%	14.2%			
70歳以上	579	250	312	238	139	92	35	17	7	118			
		43.2%	53.9%	41.1%	24.0%	15.9%	6.0%	2.9%	1.2%	20.4%			

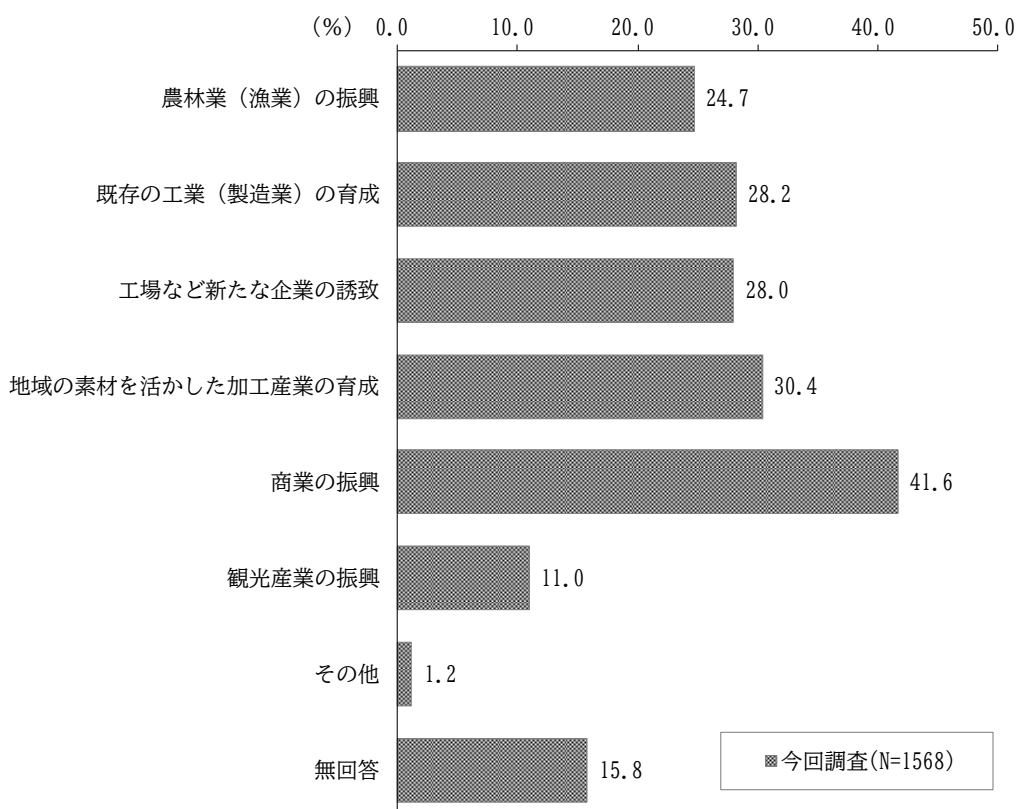
【今後のまちづくりで特に力を入れるべき分野：第1位】



問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野

地域産業振興について特に力を注ぐべき分野については、「商業の振興」が41.6%で最も高く、ついで「地域の素材を活かした加工産業の育成」が30.4%、「既存の工業（製造業）の育成」が28.2%と続いています。

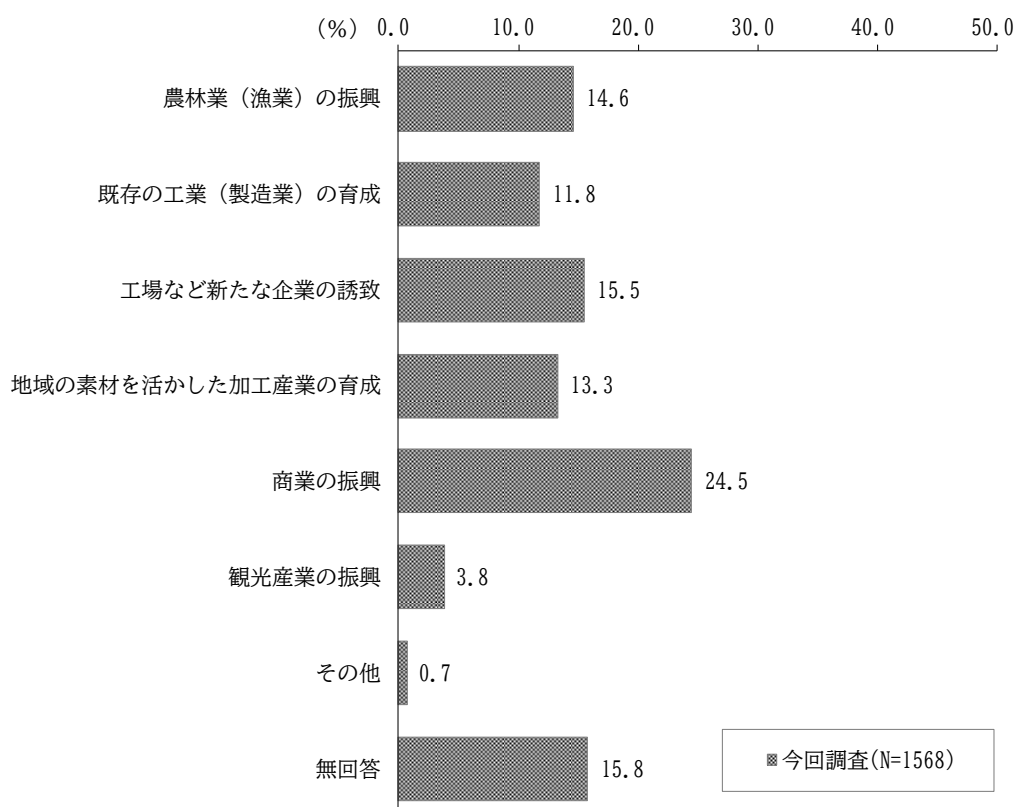
優先順位をみると、「商業の振興」を第1位にあげる人の割合が24.5%で最も高くなっています。ついで「工場等新たな企業の誘致」（15.5%）、「農林業（漁業）の振興」（14.6%）と続いています。



(回答は2つまで)

		(n=)	農林業（漁業）の振興	育成 既存の工業（製造業）の	致工場など新たな企業の誘	地域の素材を活かした加工産業の育成	商業の振興	観光産業の振興	その他	無回答
全体		1568	387 24.7%	442 28.2%	439 28.0%	476 30.4%	653 41.6%	172 11.0%	19 1.2%	248 15.8%
年齢	20歳～29歳	82	17 20.7%	12 14.6%	18 22.0%	22 26.8%	46 56.1%	29 35.4%	0 0.0%	8 9.8%
		30歳～39歳	145	36 24.8%	46 31.7%	34 23.4%	34 23.4%	79 54.5%	20 13.8%	3 2.1%
	40歳～49歳	221	46 20.8%	74 33.5%	63 28.5%	65 29.4%	111 50.2%	25 11.3%	5 2.3%	20 9.0%
		50歳～59歳	261	54 20.7%	81 31.0%	86 33.0%	81 31.0%	112 42.9%	22 8.4%	3 1.1%
	60歳～69歳	268	66 24.6%	70 26.1%	75 28.0%	86 32.1%	124 46.3%	22 8.2%	6 2.2%	39 14.6%
		70歳以上	579	166 28.7%	156 26.9%	160 27.6%	182 31.4%	179 30.9%	54 9.3%	2 0.3%

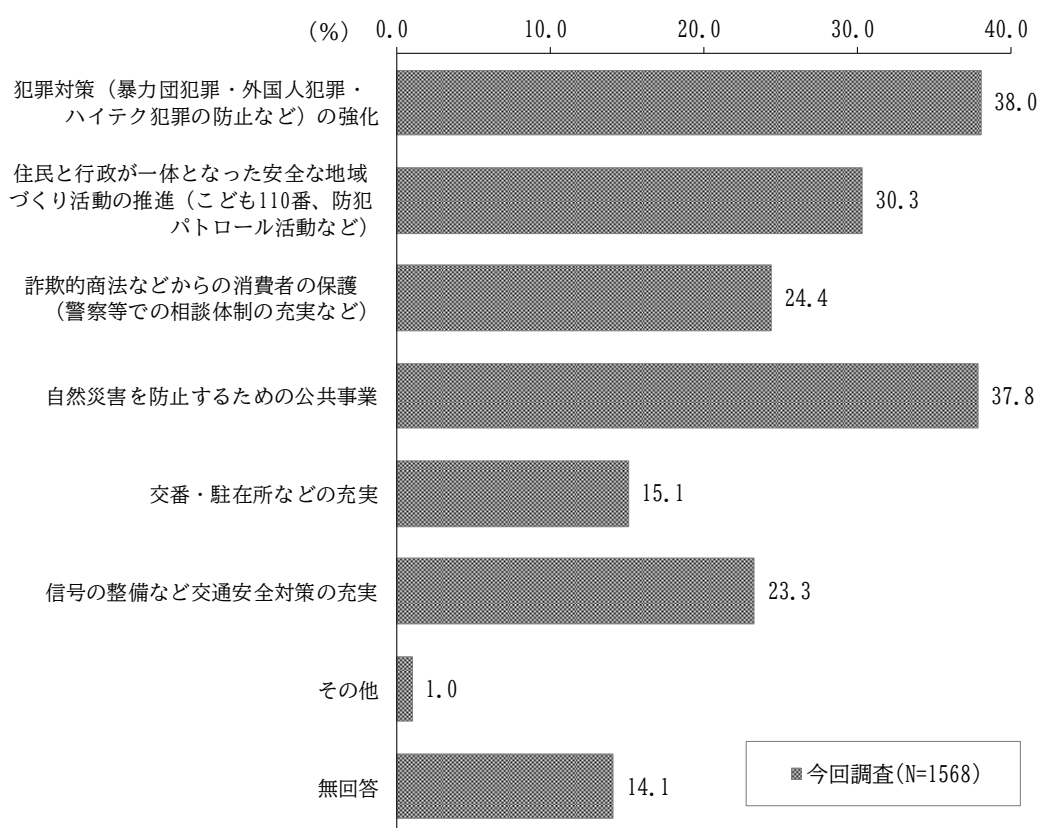
【地域産業の振興について特に力を注ぐべき分野：第1位】



問 10 安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策

安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策については、「犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪・ハイテク犯罪の防止等）の強化」が38.0%で最も高く、ついで「自然災害を防止するための公共事業」が37.8%、「住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進（こども110番、防犯パトロール活動等）」が30.3%と続いています。

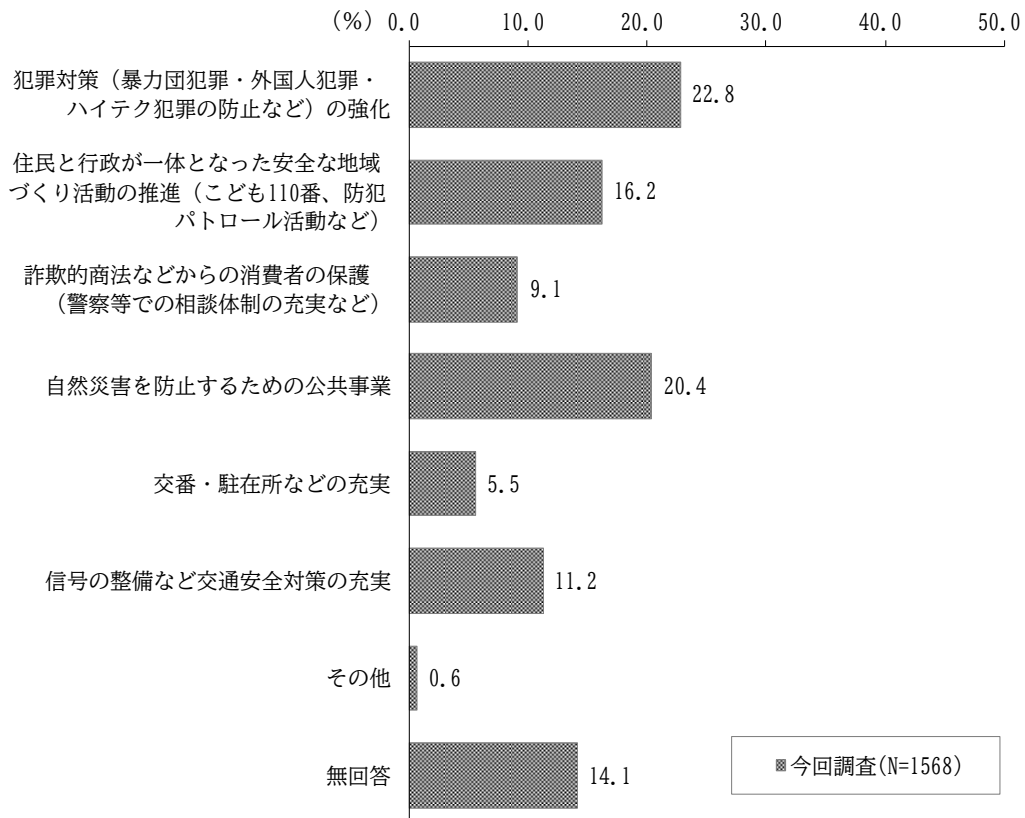
優先順位をみると、「犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪・ハイテク犯罪の防止等）の強化」を第1位にあげる人の割合が22.8%で最も高くなっています。ついで、「自然災害を防止するための公共事業」（20.4%）、「住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進（こども110番、防犯パトロール活動等）」（16.2%）と続いています。



(回答は2つまで)

		(n=)	犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪・外国人犯罪の防止など）の強化	犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪の防止など）の強化	住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進（こども110番、防犯パトロール活動など）	詐欺的商法などからの消費者の保護（警察等での相談体制の充実など）	自然災害を防止するための公共事業	交番・駐在所などの充実	信号の整備など交通安全対策の充実	その他	無回答
全体		1568	596	475	382	593	236	365	16	221	
			38.0%	30.3%	24.4%	37.8%	15.1%	23.3%	1.0%	14.1%	
年齢	20歳～29歳	82	37	28	17	29	9	26	0	8	
			45.1%	34.1%	20.7%	35.4%	11.0%	31.7%	0.0%	9.8%	
	30歳～39歳	145	60	48	20	52	26	53	3	10	
			41.4%	33.1%	13.8%	35.9%	17.9%	36.6%	2.1%	6.9%	
	40歳～49歳	221	89	60	37	94	29	79	2	21	
			40.3%	27.1%	16.7%	42.5%	13.1%	35.7%	0.9%	9.5%	
	50歳～59歳	261	98	63	62	107	43	68	7	35	
			37.5%	24.1%	23.8%	41.0%	16.5%	26.1%	2.7%	13.4%	
60歳～69歳	268	111	75	78	105	40	51	2	35		
		41.4%	28.0%	29.1%	39.2%	14.9%	19.0%	0.7%	13.1%		
70歳以上	579	197	197	163	204	86	86	2	110		
		34.0%	34.0%	28.2%	35.2%	14.9%	14.9%	0.3%	19.0%		

【安全なまちづくりのために特に力を注ぐべき施策：第1位】

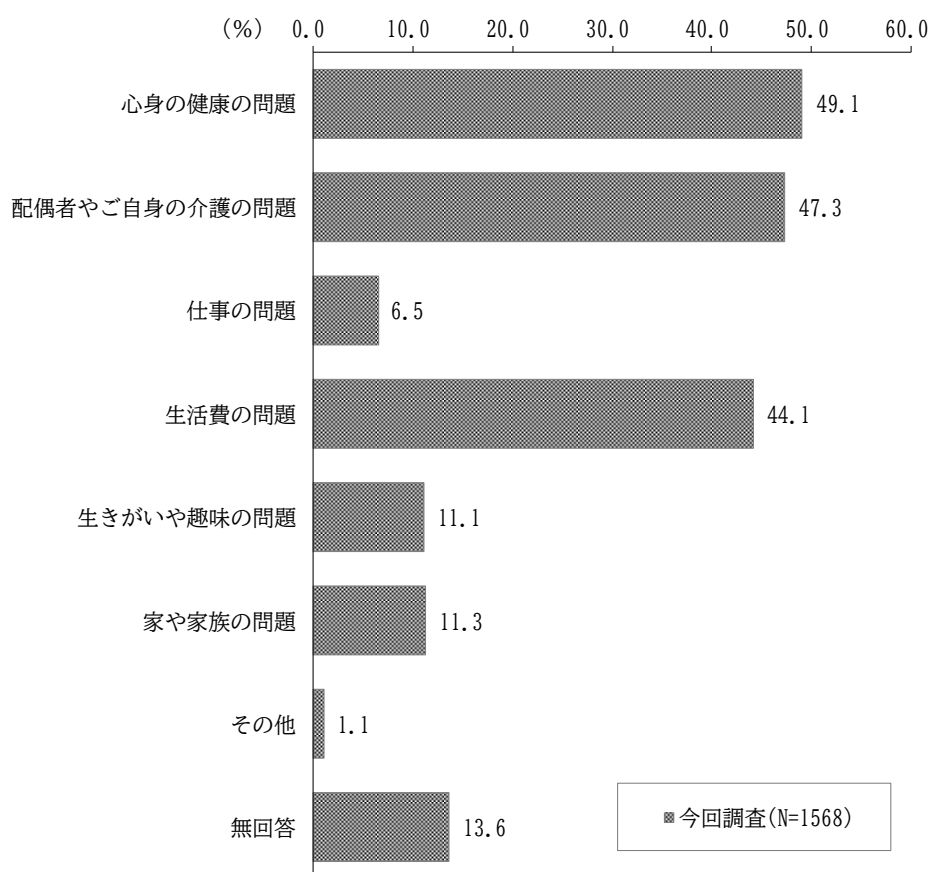


問 11 老後への不安

自身の老後の不安については、「心身の健康の問題」が49.1%で最も高く、ついで「配偶者やご自身の介護の問題」が47.3%、「生活費の問題」が44.1%と続いています。

優先順位をみると、「心身の健康の問題」を第1にあげる人の割合が30.4%と最も高くなっています。ついで「生活費の問題」(27.6%)、「配偶者やご自身の介護の問題」(20.2%)と続いています。

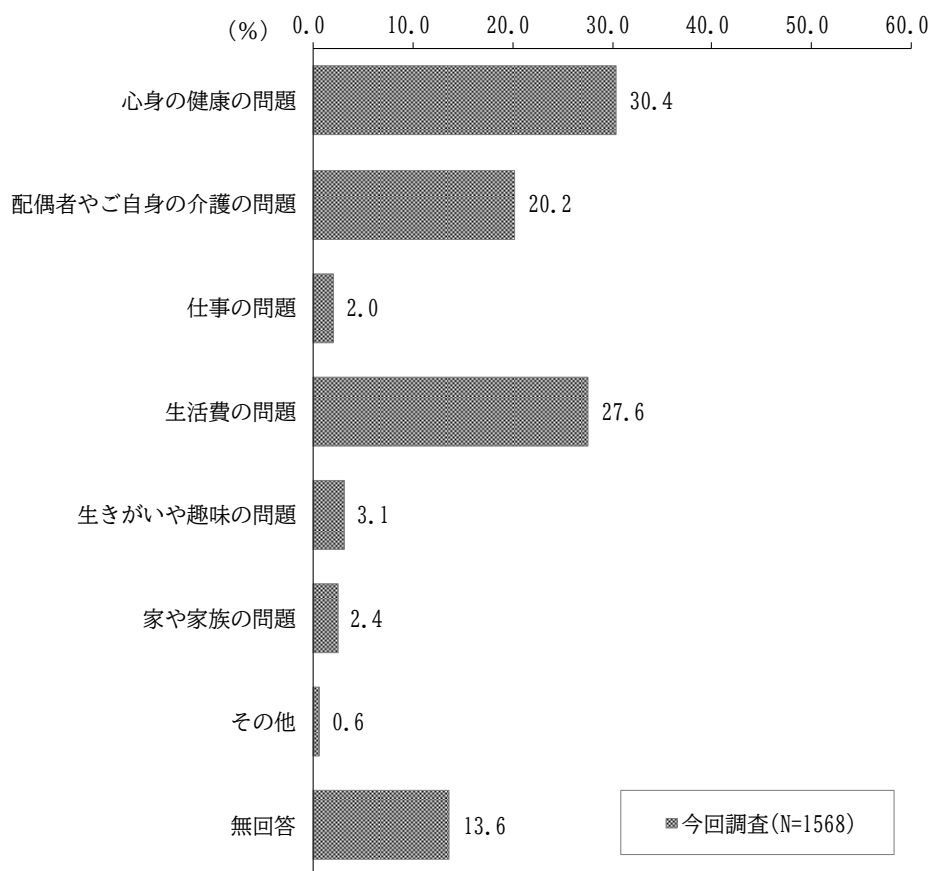
年齢別にみると、20歳代～50歳代までは「生活費の問題」が最も高くなっています。60歳代以上では、「心身の健康の問題」や「配偶者やご自身の介護の問題」が「生活費の問題」に比べて高くなっています。



(回答は2つまで)

		(n=)	心身の健康の問題	配偶者やご自身の介護の問題	仕事の問題	生活費の問題	生きがいや趣味の問題	家や家族の問題	その他	無回答
全体		1568	770 49.1%	742 47.3%	102 6.5%	692 44.1%	174 11.1%	177 11.3%	18 1.1%	214 13.6%
年齢	20歳～29歳	82	29 35.4%	27 32.9%	13 15.9%	55 67.1%	14 17.1%	7 8.5%	0 0.0%	8 9.8%
		30歳～39歳	145	50 34.5%	63 43.4%	20 13.8%	97 66.9%	9 6.2%	24 16.6%	3 2.1%
	40歳～49歳	221	94 42.5%	92 41.6%	24 10.9%	128 57.9%	26 11.8%	29 13.1%	3 1.4%	20 9.0%
		50歳～59歳	261	107 41.0%	107 41.0%	24 9.2%	147 56.3%	28 10.7%	26 10.0%	7 2.7%
	60歳～69歳	268	134 50.0%	134 50.0%	14 5.2%	121 45.1%	29 10.8%	28 10.4%	2 0.7%	36 13.4%
		70歳以上	579	350 60.4%	317 54.7%	7 1.2%	139 24.0%	66 11.4%	59 10.2%	2 0.3%

【老後への不安：第1位】

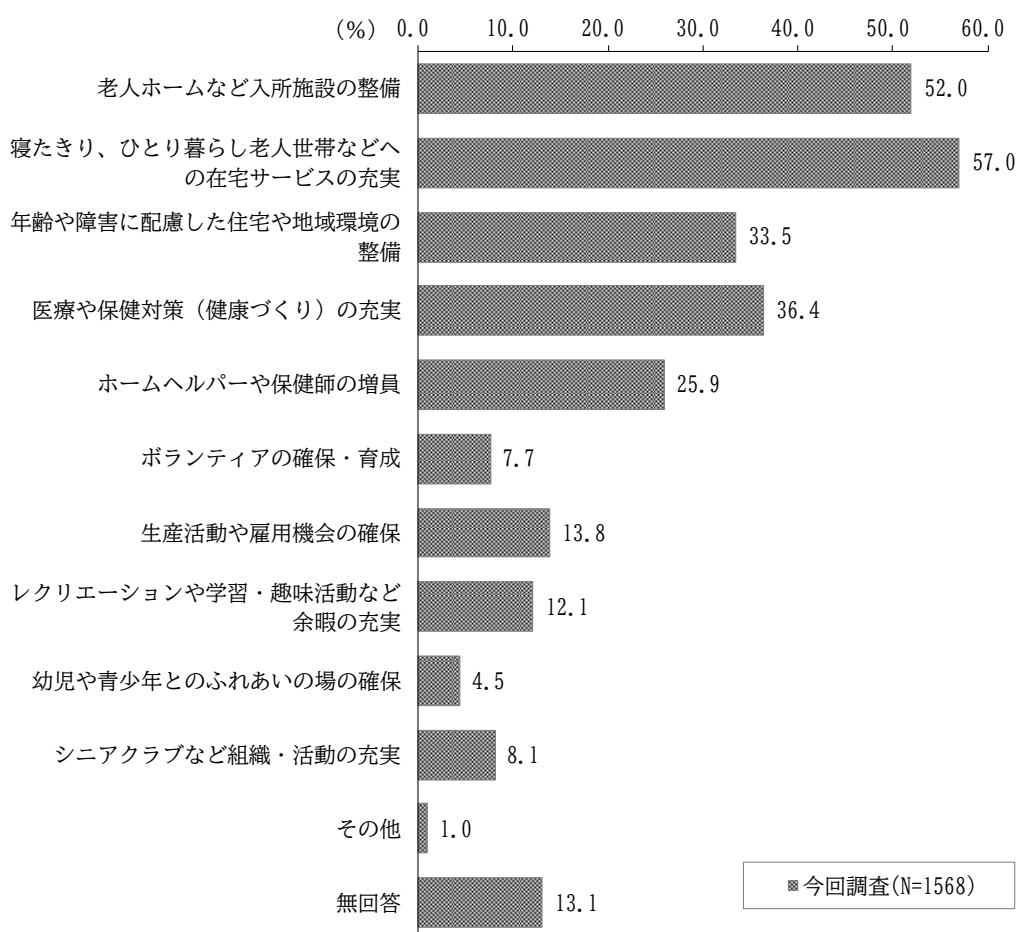


問 12 力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策

力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策については、「寝たきり、ひとり暮らし老人世帯等への在宅サービスの充実」が57.0%で最も高く、ついで「老人ホーム等入所施設の整備」が52.0%、「医療や保健対策（健康づくり）の充実」が36.4%となっています。

優先順位をみると、第1位は「老人ホームなど入所施設の整備」が30.7%で最も高くなっています。ついで「寝たきり、ひとり暮らし老人世帯等への在宅サービスの充実」（21.0%）と続いています。

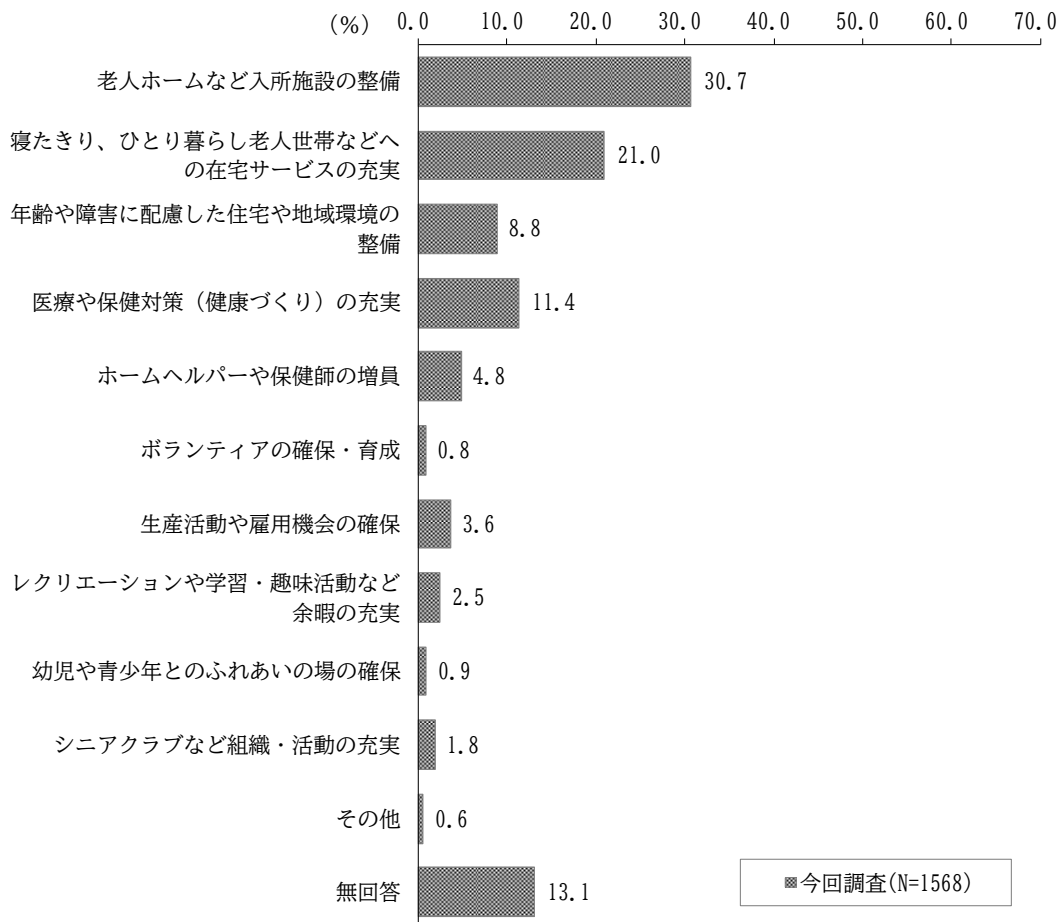
年齢別にみると、20歳代では「老人ホーム等入所施設の整備」が61.0%と他の年齢層に比べて高くなっています。



(回答は3つまで)

	(n=)	老人ホームなど入所施設の整備	寝たきり、ひとり暮らし老人世帯などへの在宅サービスの充実	年齢や障害に配慮した住宅や地域環境の整備	医療や保健対策（健康づくり）の充実	ホームヘルパーや保健師の増員	ボランティアの確保・育成	生産活動や雇用機会の確保	レクリエーションや学習・趣味活動など余暇の充実	幼児や青少年とのふれあいの場の確保	シニアクラブなど組織・活動の充実	その他	無回答	
全体	1568	815	894	525	571	406	120	217	190	70	127	16	205	
年齢	20歳～29歳	82	50	42	31	24	20	7	11	9	9	10	1	8
		61.0%	51.2%	37.8%	29.3%	24.4%	8.5%	13.4%	11.0%	11.0%	12.2%	1.2%	9.8%	
	30歳～39歳	145	75	83	53	55	32	14	29	19	11	8	3	11
		51.7%	57.2%	36.6%	37.9%	22.1%	9.7%	20.0%	13.1%	7.6%	5.5%	2.1%	7.6%	
	40歳～49歳	221	101	128	80	77	63	14	55	29	13	17	5	19
		45.7%	57.9%	36.2%	34.8%	28.5%	6.3%	24.9%	13.1%	5.9%	7.7%	2.3%	8.6%	
	50歳～59歳	261	128	134	86	88	77	23	54	32	9	22	2	35
49.0%		51.3%	33.0%	33.7%	29.5%	8.8%	20.7%	12.3%	3.4%	8.4%	0.8%	13.4%		
60歳～69歳	268	139	162	97	109	71	14	37	27	9	14	2	35	
	51.9%	60.4%	36.2%	40.7%	26.5%	5.2%	13.8%	10.1%	3.4%	5.2%	0.7%	13.1%		
70歳以上	579	316	339	176	212	139	47	31	72	18	54	3	95	
	54.6%	58.5%	30.4%	36.6%	24.0%	8.1%	5.4%	12.4%	3.1%	9.3%	0.5%	16.4%		

【力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策：第1位】

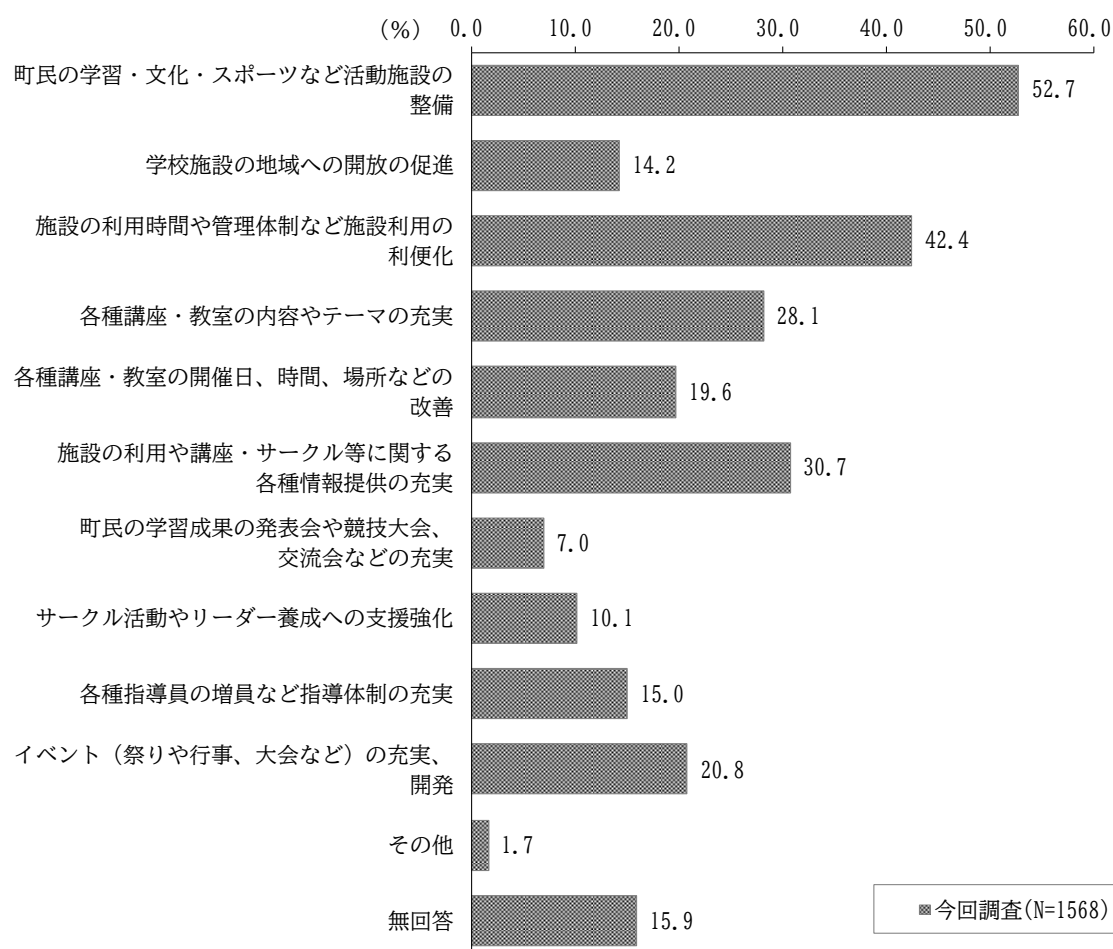


問 13 生涯学習活動を充実するうえで重要なこと

生涯学習活動を充実するうえで重要なことについては、「町民の学習・文化・スポーツ等活動施設の整備」が52.7%で最も高く、ついで「施設の利用時間や管理体制等施設利用の利便化」が42.4%、「施設の利用や講座・サークル等に関する各種情報提供の充実」が30.7%と続いています。

優先順位をみると、第1位は「町民の学習・文化・スポーツ等活動施設の整備」が30.1%で最も高くなっています。

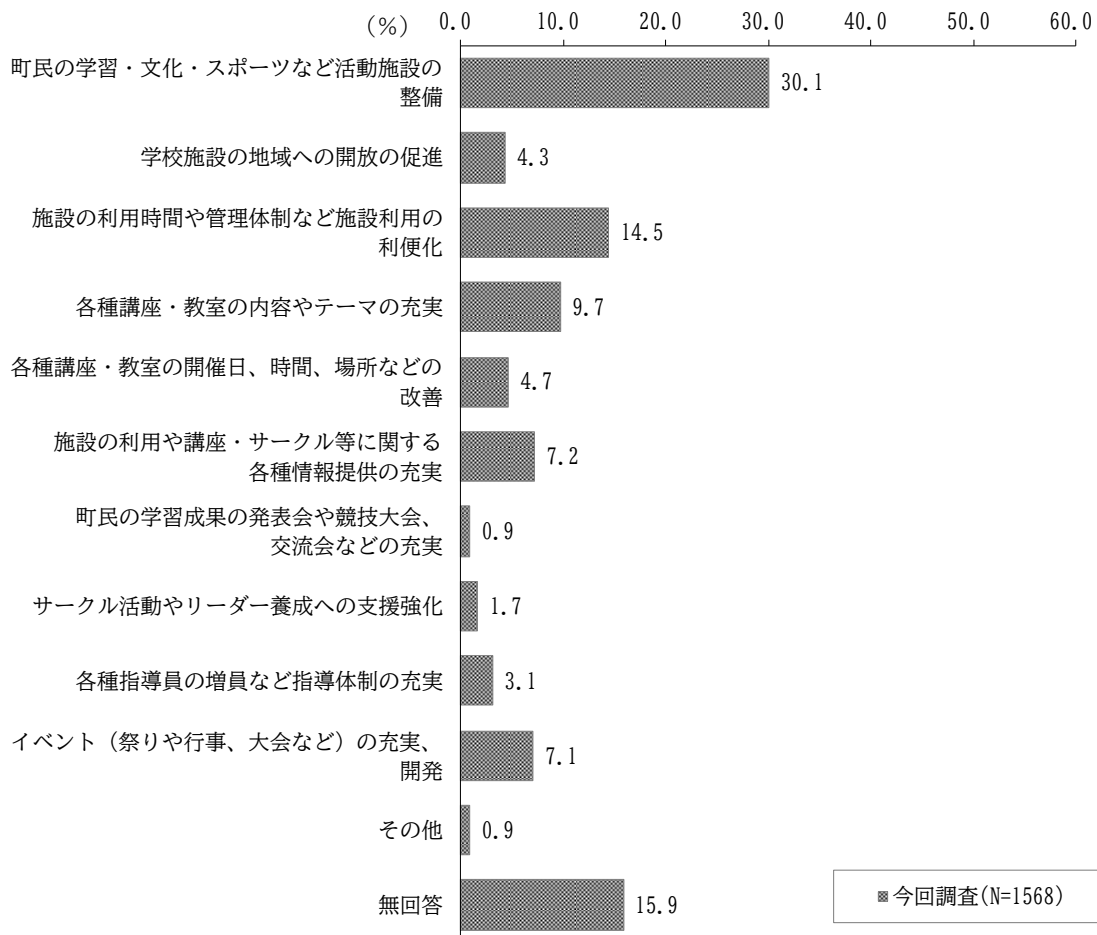
年齢別にみると、年齢層が低いほど「イベント（祭りや行事、大会等）の充実、開発」の割合が高くなっています。



(回答は3つまで)

		(n=)	町民の学習・文化・スポーツなど活動施設の整備	学校施設の地域への開放の促進	施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化	各種講座・教室の内容やテーマの充実	各種講座・教室の開催日、時間、場所などの改善	施設の利用や講座・サークル等に関する各種情報提供の充実	町民の学習成果の発表会や競技大会、交流会などの充実	サークル活動やリーダー養成への支援強化	各種指導員の増員など指導体制の充実	イベント（祭りや行事、大会など）の充実、開発	その他	無回答
全体		1568	826	223	665	441	308	481	110	159	235	326	26	249
			52.7%	14.2%	42.4%	28.1%	19.6%	30.7%	7.0%	10.1%	15.0%	20.8%	1.7%	15.9%
年齢	20歳～29歳	82	52	20	36	18	8	22	7	7	9	37	1	7
			63.4%	24.4%	43.9%	22.0%	9.8%	26.8%	8.5%	8.5%	11.0%	45.1%	1.2%	8.5%
	30歳～39歳	145	98	29	62	38	22	30	13	15	21	57	3	10
			67.6%	20.0%	42.8%	26.2%	15.2%	20.7%	9.0%	10.3%	14.5%	39.3%	2.1%	6.9%
	40歳～49歳	221	136	42	106	53	40	54	16	23	35	62	10	18
			61.5%	19.0%	48.0%	24.0%	18.1%	24.4%	7.2%	10.4%	15.8%	28.1%	4.5%	8.1%
	50歳～59歳	261	134	29	113	91	75	84	9	19	38	55	7	31
		51.3%	11.1%	43.3%	34.9%	28.7%	32.2%	3.4%	7.3%	14.6%	21.1%	2.7%	11.9%	
60歳～69歳	268	141	29	126	89	49	100	18	19	39	42	3	40	
		52.6%	10.8%	47.0%	33.2%	18.3%	37.3%	6.7%	7.1%	14.6%	15.7%	1.1%	14.9%	
70歳以上	579	262	74	217	149	112	186	46	75	91	71	2	139	
		45.3%	12.8%	37.5%	25.7%	19.3%	32.1%	7.9%	13.0%	15.7%	12.3%	0.3%	24.0%	

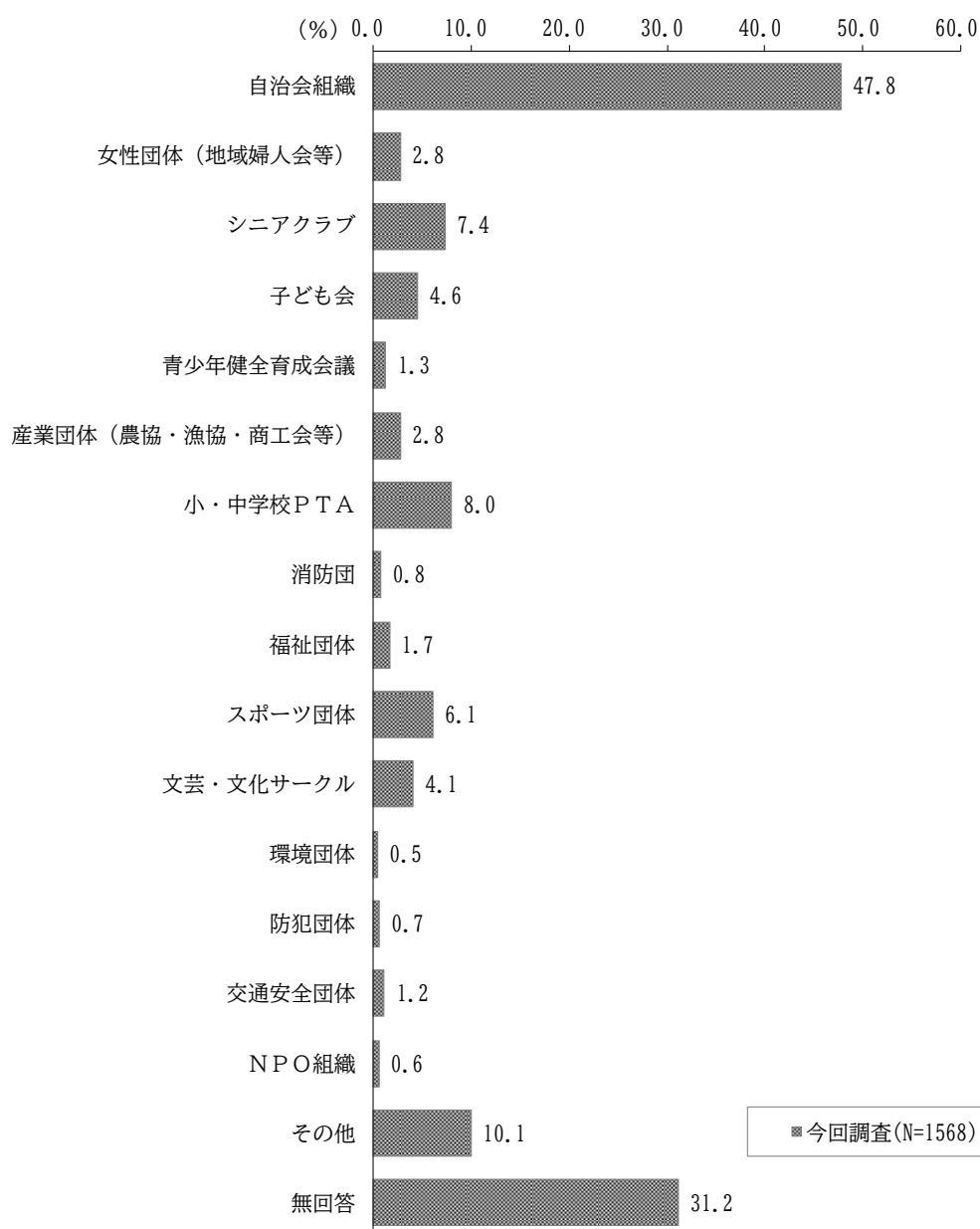
【生涯学習活動を充実するうえで重要なこと：第1位】



問 14 加入または所属している組織や団体

加入または所属している団体については、「自治会組織」が47.8%と突出して高くなっています。「小・中学校PTA」(8.0%)、「シニアクラブ」(7.4%)と「自治会組織」以外の団体は10%を下回っています。

年齢別にみると、20歳代は「自治会組織」が25.6%と、他の年齢層と比較して加入率が低くなっています。30歳代・40歳代では「小・中学校PTA」と「子供会」、70歳以上では「シニアクラブ」(18.7%)の加入率が他の年齢層に比べて高くなっています。



(回答は該当するものすべて)

		(n=)	自治会組織	等)女性団体(地域婦人会)	シニアクラブ	子ども会	青少年健全育成会議	産業団体(農協・漁協・ 商工会等)	小・中学校PTA	消防団	福祉団体	スポーツ団体	文芸・文化サークル
全体		1568	749	44	116	72	21	44	126	13	27	96	65
			47.8%	2.8%	7.4%	4.6%	1.3%	2.8%	8.0%	0.8%	1.7%	6.1%	4.1%
年齢	20歳～29歳	82	21	0	0	1	0	2	1	2	0	3	1
			25.6%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	2.4%	1.2%	2.4%	0.0%	3.7%	1.2%
	30歳～39歳	145	55	1	0	33	0	2	33	2	2	6	0
			37.9%	0.7%	0.0%	22.8%	0.0%	1.4%	22.8%	1.4%	1.4%	4.1%	0.0%
	40歳～49歳	221	91	4	1	30	5	4	74	3	1	19	4
			41.2%	1.8%	0.5%	13.6%	2.3%	1.8%	33.5%	1.4%	0.5%	8.6%	1.8%
	50歳～59歳	261	133	3	0	3	1	8	14	2	2	12	5
		51.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.4%	3.1%	5.4%	0.8%	0.8%	4.6%	1.9%	
60歳～69歳	268	135	4	6	2	6	8	2	2	2	11	12	
		50.4%	1.5%	2.2%	0.7%	2.2%	3.0%	0.7%	0.7%	0.7%	4.1%	4.5%	
70歳以上	579	305	32	108	2	9	20	1	2	19	43	42	
			52.7%	5.5%	18.7%	0.3%	1.6%	3.5%	0.2%	0.3%	3.3%	7.4%	7.3%

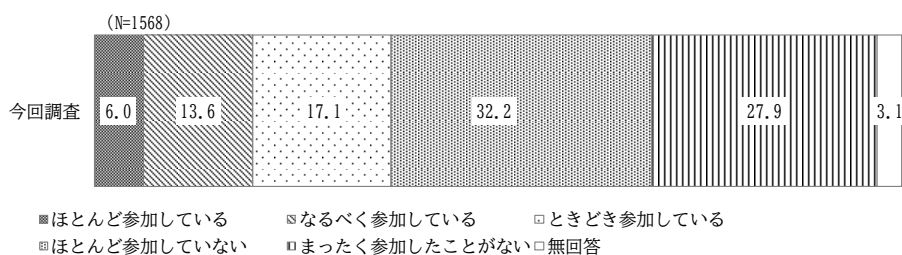
		(n=)	環境団体	防犯団体	交通安全団体	NPO組織	その他	無回答
全体		1568	8	11	19	10	158	489
			0.5%	0.7%	1.2%	0.6%	10.1%	31.2%
年齢	20歳～29歳	82	0	0	0	1	22	30
			0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	26.8%	36.6%
	30歳～39歳	145	0	0	0	2	20	38
			0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	13.8%	26.2%
	40歳～49歳	221	0	0	5	0	25	51
			0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	11.3%	23.1%
	50歳～59歳	261	0	0	1	0	26	86
		0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	10.0%	33.0%	
60歳～69歳	268	2	3	2	1	24	92	
		0.7%	1.1%	0.7%	0.4%	9.0%	34.3%	
70歳以上	579	6	7	10	5	39	191	
			1.0%	1.2%	1.7%	0.9%	6.7%	33.0%

問 15 地域や町内の活動や行事への参加程度

地域や町内の活動や行事への参加程度については、「ほとんど参加していない」(32.2%)と「まったく参加したことがない」(27.9%)を合わせると、60.1%と過半数以上が“参加していない”と回答しています。

「ほとんど参加している」6.0%、「なるべく参加している」は13.6%、「ときどき参加している」は17.1%となっています。

年齢別にみると、20歳代は「参加していない・計」(「ほとんど参加していない」「まったく参加したことがない」の合計)が8割と他の年齢層に比べ高くなっています。



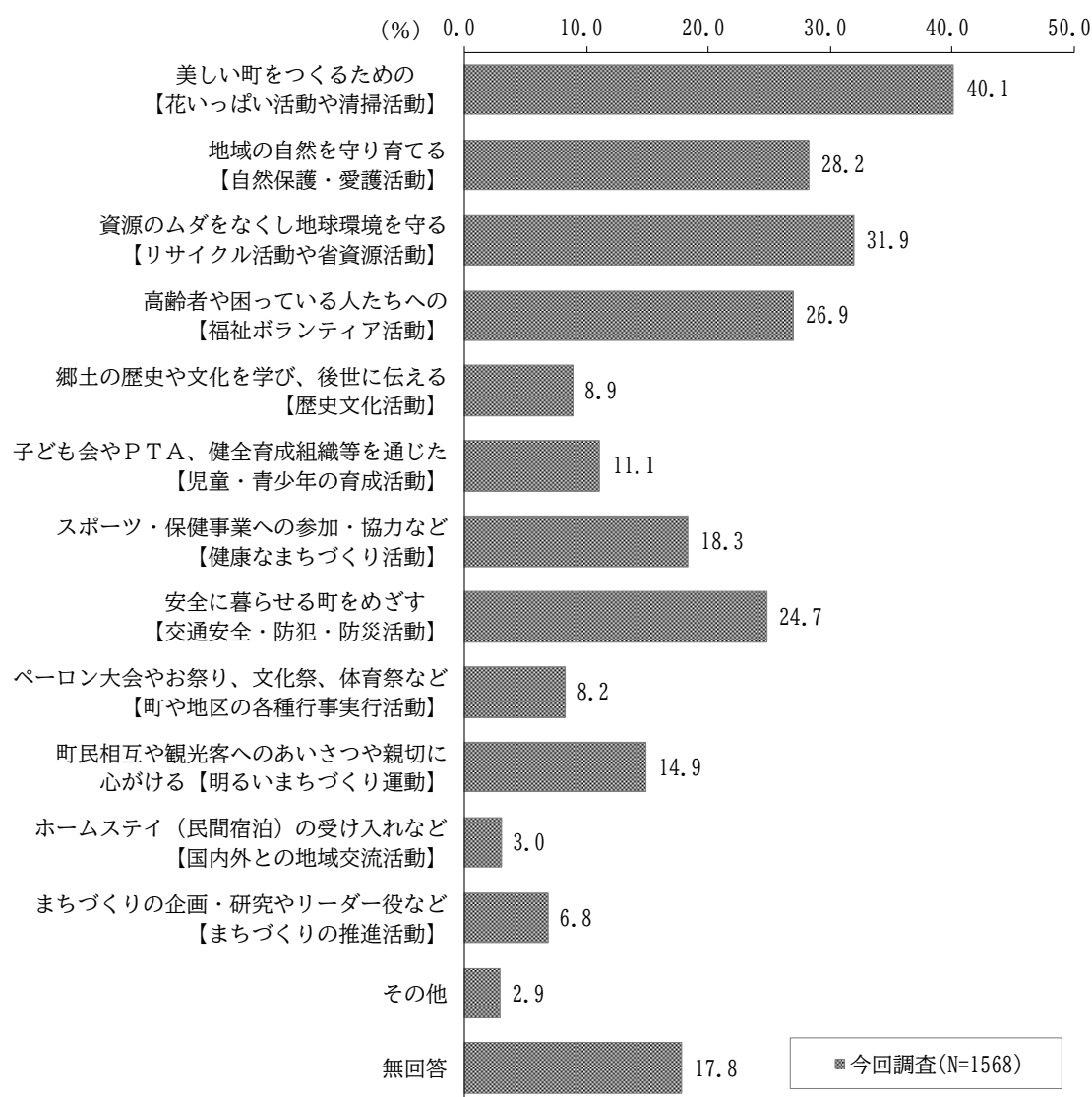
(回答は1つのみ)

		(n=)	ほとんど参加している	なるべく参加している	ときどき参加している	ほとんど参加していない	まったく参加したことがない	無回答	参加している・計	参加していない・計
全体		1568	94	214	268	505	438	49	576	943
			6.0%	13.6%	17.1%	32.2%	27.9%	3.1%	36.7%	60.1%
年齢	20歳～29歳	82	1	4	8	22	44	3	13	66
			1.2%	4.9%	9.8%	26.8%	53.7%	3.7%	15.9%	80.5%
	30歳～39歳	145	4	17	29	34	59	2	50	93
			2.8%	11.7%	20.0%	23.4%	40.7%	1.4%	34.5%	64.1%
	40歳～49歳	221	12	28	44	75	58	4	84	133
			5.4%	12.7%	19.9%	33.9%	26.2%	1.8%	38.0%	60.2%
	50歳～59歳	261	6	29	47	100	77	2	82	177
		2.3%	11.1%	18.0%	38.3%	29.5%	0.8%	31.4%	67.8%	
60歳～69歳	268	11	29	49	113	60	6	89	173	
		4.1%	10.8%	18.3%	42.2%	22.4%	2.2%	33.2%	64.6%	
70歳以上	579	58	105	89	158	137	32	252	295	
			10.0%	18.1%	15.4%	27.3%	23.7%	5.5%	43.5%	50.9%

問 16 まちづくりのために参加したい（できる）活動

まちづくりのために参加したい（できる）活動については、「美しい町をつくるための【花いっぱい活動や清掃活動】」が40.1%で最も高く、ついで「資源のムダをなくし地球環境を守る【リサイクル活動や省資源活動】」（31.9%）、「地域の自然を守り育てる【自然保護・愛護活動】」（28.2%）と続いています。

優先順位をみると、第1位は「美しい町をつくるための【花いっぱい活動や清掃活動】」が20.2%で最も高くなっています。

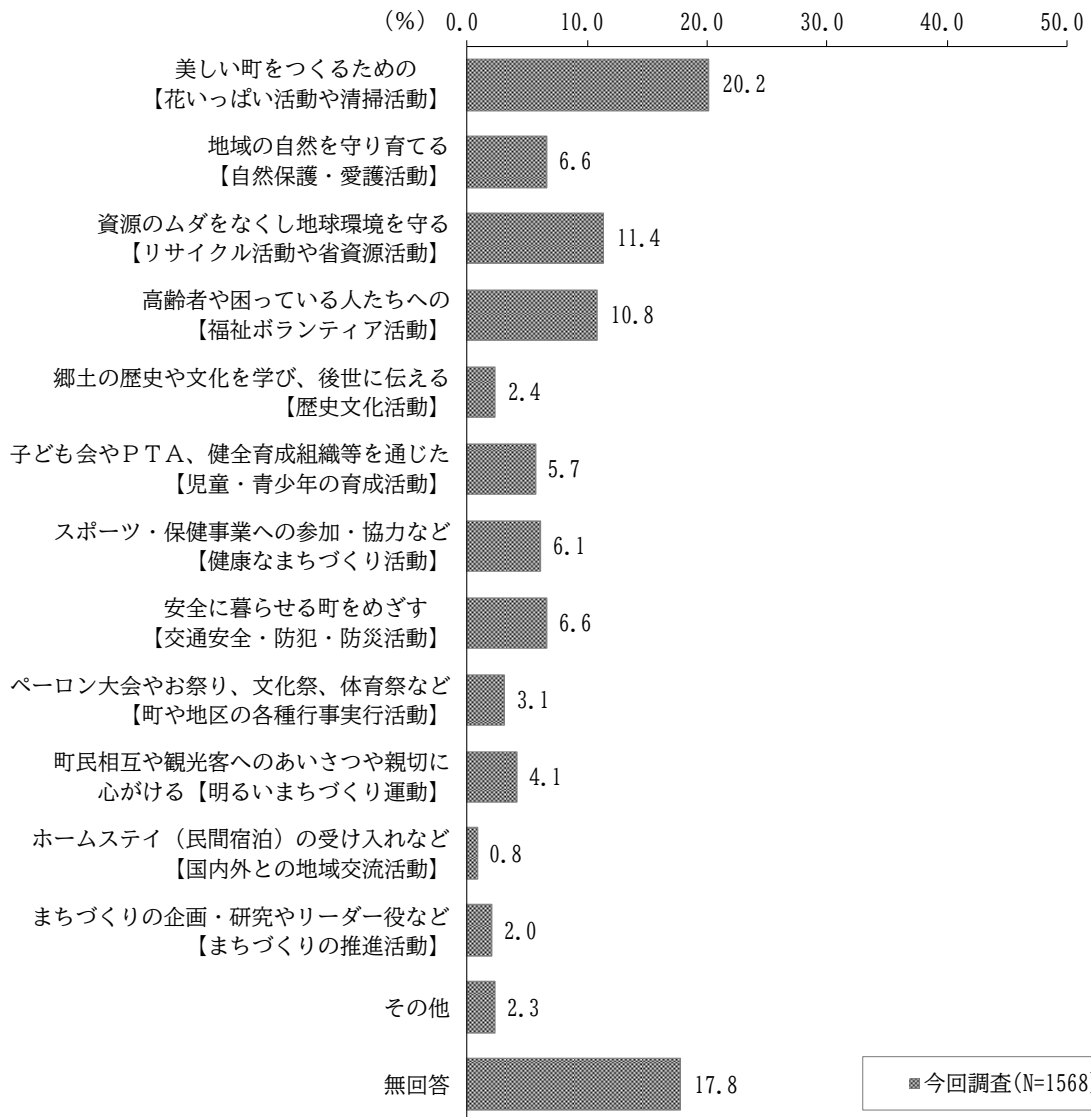


(回答は3つまで)

		(n=)	美しい町をつくるための活動 〔花いっぱい活動や清掃活動〕	地域の自然を守り育てる 〔自然保護・愛護活動〕	資源のムダをなくし地球環境を守る 〔リサイクル活動や省資源活動〕	高齢者や困っている人々への 〔福祉ボランティア活動〕	郷土の歴史や文化を学び、 後世に伝える 〔歴史文化活動〕	子ども会やPTA、健全育成組織等を通じた 〔児童・青少年の育成活動〕	子ども会やPTA、健全育成組織等を通じた 〔児童・青少年の育成活動〕	加・協力など 〔健康なまちづくり活動〕	安全に暮らせる町をめざす 〔交通安全・防犯・防災活動〕	区民相互や観光客へのあいさつや親切に心がける 〔町民相互や観光客へのあいさつや親切に心がける〕	パーロン大会やお祭り、文化祭、体育祭など 〔町や地区の各種行事実行活動〕	ホームステイ（民間宿泊）の受け入れなど 〔国内外との地域交流活動〕
全体		1568	629 40.1%	442 28.2%	500 31.9%	422 26.9%	139 8.9%	174 11.1%	287 18.3%	388 24.7%	129 8.2%	233 14.9%	47 3.0%	
年齢	20歳～29歳	82	42 51.2%	17 20.7%	21 25.6%	19 23.2%	3 3.7%	12 14.6%	22 26.8%	20 24.4%	21 25.6%	13 15.9%	8 9.8%	
		145	53 36.6%	31 21.4%	27 18.6%	29 20.0%	5 3.4%	50 34.5%	41 28.3%	41 28.3%	28 19.3%	30 20.7%	6 4.1%	
	40歳～49歳	221	77 34.8%	57 25.8%	56 25.3%	45 20.4%	15 6.8%	67 30.3%	60 27.1%	64 29.0%	30 13.6%	26 11.8%	10 4.5%	
		261	113 43.3%	86 33.0%	95 36.4%	71 27.2%	29 11.1%	18 6.9%	45 17.2%	57 21.8%	11 4.2%	36 13.8%	10 3.8%	
	60歳～69歳	268	119 44.4%	92 34.3%	96 35.8%	85 31.7%	30 11.2%	13 4.9%	44 16.4%	64 23.9%	5 1.9%	45 16.8%	6 2.2%	
		579	220 38.0%	157 27.1%	201 34.7%	169 29.2%	57 9.8%	13 2.2%	73 12.6%	138 23.8%	34 5.9%	81 14.0%	7 1.2%	

		(n=)	まちづくりの企画・研究や リーダーの推進活動など 〔まちづくりの企画・研究や リーダーの推進活動など〕	その他	無回答
全体		1568	107 6.8%	46 2.9%	279 17.8%
年齢	20歳～29歳	82	7 8.5%	3 3.7%	6 7.3%
		145	14 9.7%	3 2.1%	11 7.6%
	40歳～49歳	221	27 12.2%	6 2.7%	23 10.4%
		261	17 6.5%	12 4.6%	37 14.2%
	60歳～69歳	268	16 6.0%	4 1.5%	44 16.4%
		579	26 4.5%	17 2.9%	155 26.8%

【まちづくりのために参加したい（できる）活動：第1位】

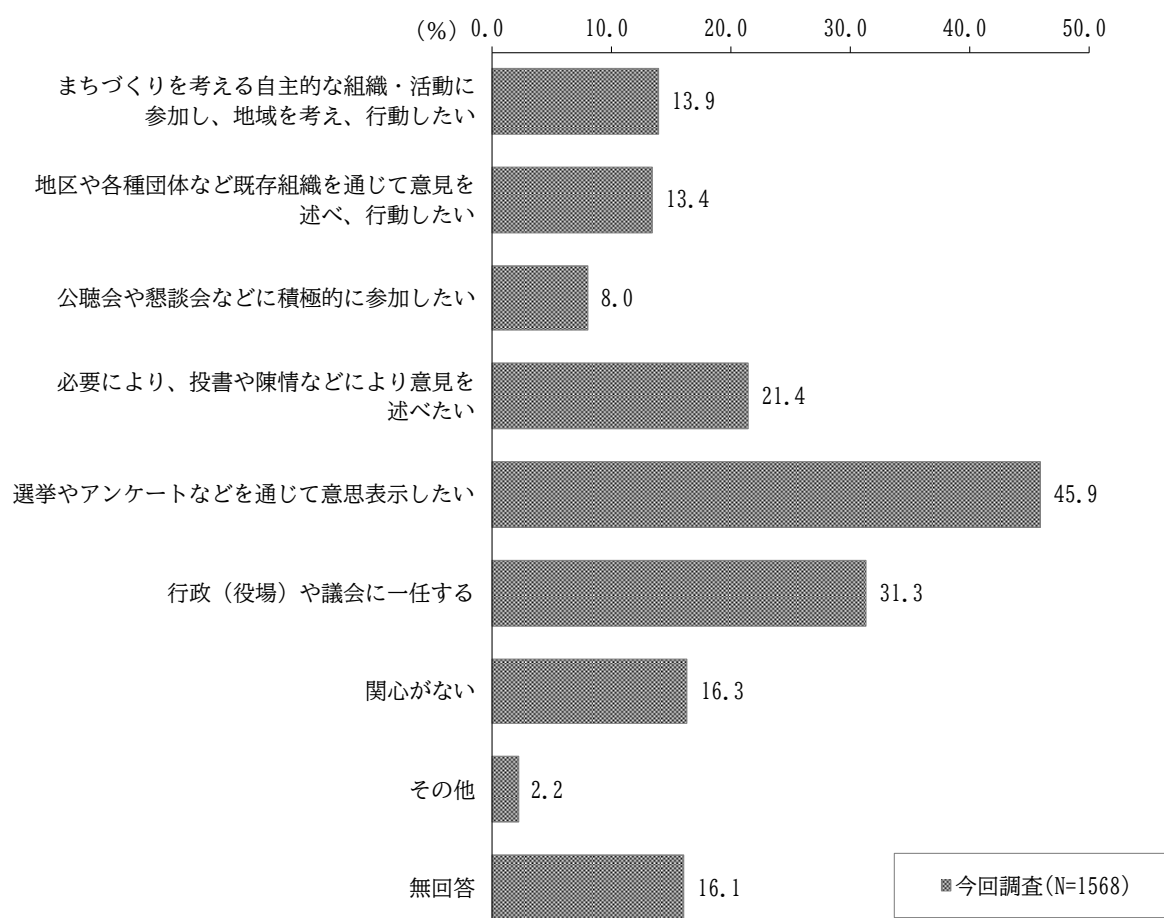


問 17 まちづくりへの参加方法

まちづくり（町政）への参加方法については、「選挙やアンケート等を通じて意思表示したい」が45.9%で最も高く、ついで「行政（役場）や議会に一任する」が31.3%、「必要により、投書や陳情などにより意見を述べたい」が21.4%と続いています。

優先順位をみると、第1位は「選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい」が30.7%で最も高くなっています。

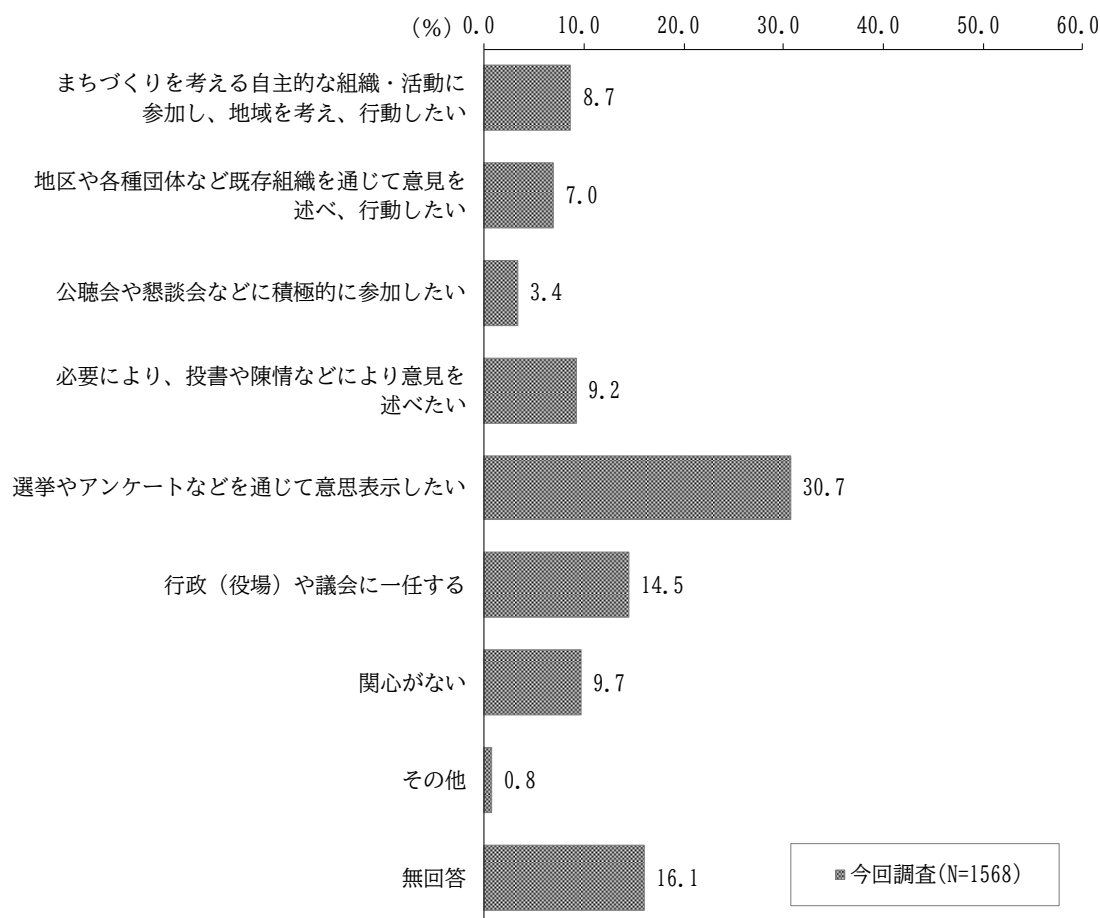
年齢別にみると、70歳以上で「選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい」が37.0%と他の年齢層と比べて低くなっています。



(回答は2つまで)

		(n=)	まちづくりを 考える自主的 な組織・活動 に参加したい	地区や各種 団体など既存 組織を通じて 意見を述べ、 行動したい	公聴会や懇 談会などに積 極的に参加し たい	必要により、 投書や陳情な どにより意見 を述べたい	選挙やアン ケートなどを 通じて意思表 示したい	行政（役場） や議会に一任 する	関心がない	その他	無回答
全体		1568	218	210	126	336	720	491	256	34	252
			13.9%	13.4%	8.0%	21.4%	45.9%	31.3%	16.3%	2.2%	16.1%
年齢	20歳～29歳	82	13	6	4	14	44	26	28	0	6
			15.9%	7.3%	4.9%	17.1%	53.7%	31.7%	34.1%	0.0%	7.3%
	30歳～39歳	145	24	22	8	39	73	36	27	1	13
			16.6%	15.2%	5.5%	26.9%	50.3%	24.8%	18.6%	0.7%	9.0%
	40歳～49歳	221	39	30	8	69	113	62	39	1	21
			17.6%	13.6%	3.6%	31.2%	51.1%	28.1%	17.6%	0.5%	9.5%
	50歳～59歳	261	34	33	18	74	127	77	39	6	36
			13.0%	12.6%	6.9%	28.4%	48.7%	29.5%	14.9%	2.3%	13.8%
60歳～69歳	268	20	25	22	55	146	86	53	7	39	
		7.5%	9.3%	8.2%	20.5%	54.5%	32.1%	19.8%	2.6%	14.6%	
70歳以上	579	85	91	66	85	214	202	68	17	134	
		14.7%	15.7%	11.4%	14.7%	37.0%	34.9%	11.7%	2.9%	23.1%	

【まちづくりへの参加方法：第1位】

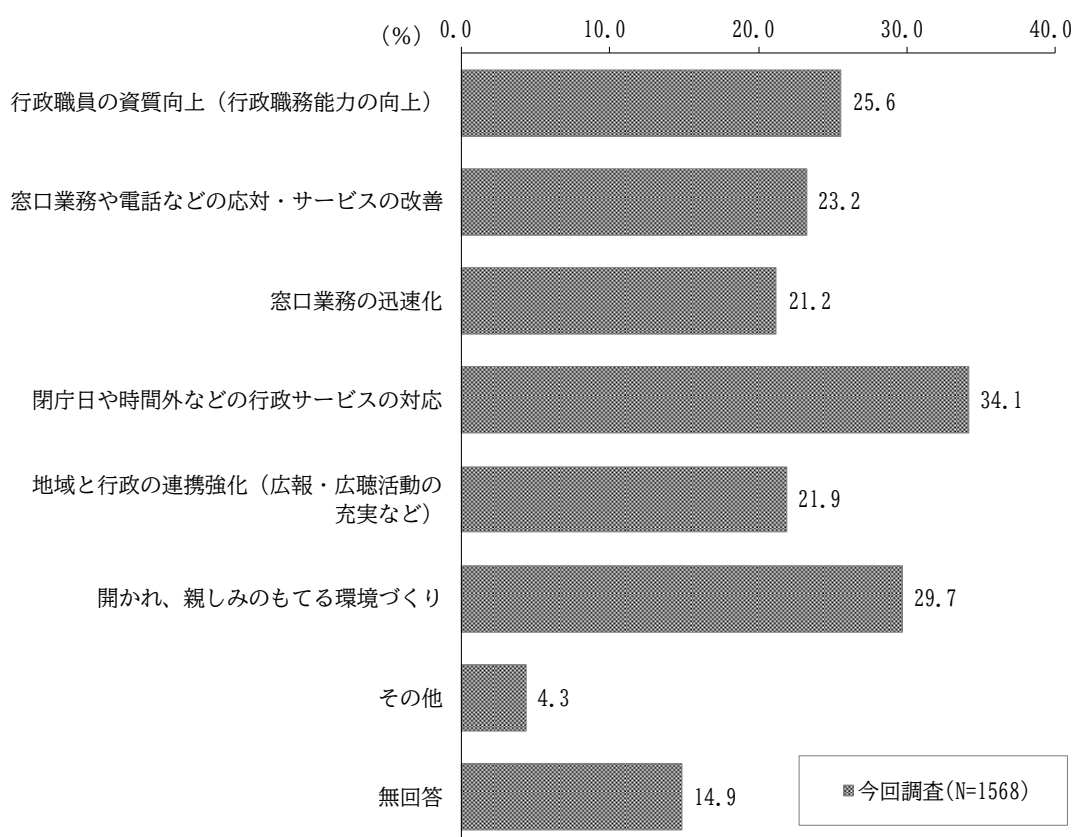


問 18 行政運営に対する要望

行政運営に対する要望については、「閉庁日や時間外などの行政サービスの対応」が34.1%で最も高く、ついで「開かれ、親しみのもてる環境づくり」が29.7%、「行政職員の資質向上（行政職務能力の向上）」が25.6%と続いています。

優先順位をみると、第1位は「閉庁日や時間外などの行政サービスの対応」が22.2%で最も高くなっています。

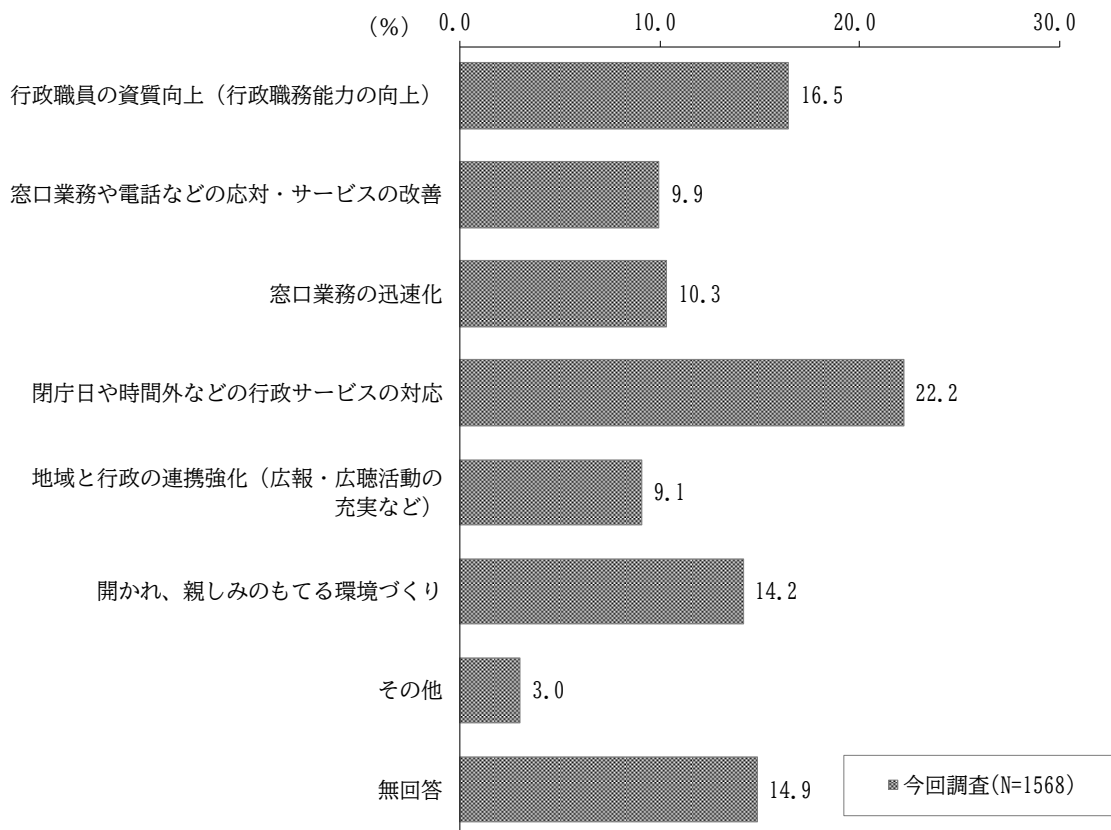
年齢別にみると、20歳代から60歳代までは「開庁日や時間外などの行政サービスの対応」が最も高くなっています。70歳以上は「開かれ、親しみのもてる環境づくり」が最も高くなっています。



(回答は2つまで)

		(n=)	行政職員の資質向上 (行政職務能力の向上) (行	対・窓口業務や電話などの改善	窓口業務の迅速化	閉庁日や時間外などの行政サービスの対応	地域と行政の連携強化 (広報・広聴活動の充実 など)	開かれ、親しみのもてる 環境づくり	その他	無回答
全体		1568	401 25.6%	364 23.2%	333 21.2%	535 34.1%	343 21.9%	465 29.7%	68 4.3%	233 14.9%
年齢	20歳～29歳	82	24 29.3%	23 28.0%	25 30.5%	35 42.7%	11 13.4%	20 24.4%	1 1.2%	6 7.3%
		30歳～39歳	145	21 14.5%	38 26.2%	33 22.8%	58 40.0%	37 25.5%	46 31.7%	12 8.3%
	40歳～49歳		221	51 23.1%	51 23.1%	54 24.4%	97 43.9%	48 21.7%	66 29.9%	8 3.6%
		50歳～59歳	261	78 29.9%	66 25.3%	49 18.8%	120 46.0%	46 17.6%	53 20.3%	13 5.0%
	60歳～69歳		268	62 23.1%	73 27.2%	48 17.9%	99 36.9%	57 21.3%	89 33.2%	14 5.2%
		70歳以上	579	164 28.3%	110 19.0%	121 20.9%	126 21.8%	141 24.4%	188 32.5%	17 2.9%

【行政運営に対する要望：第1位】

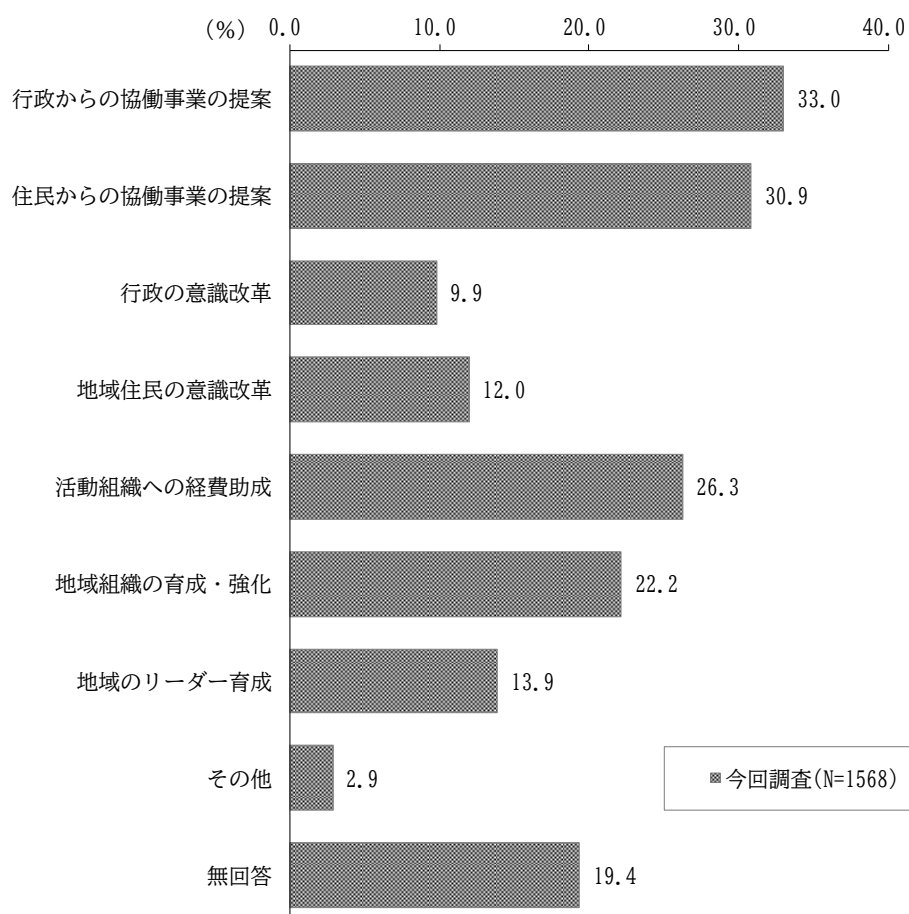


問 19 行政との協働活動の充実のために必要なこと

今後、行政との協働活動の充実のために必要なことについては、「行政からの協働事業の提案」が33.0%で最も高く、ついで「住民からの協働事業の提案」が30.9%、「活動組織への経費助成」が26.3%と続いています。

優先順位をみると、第1位として「行政からの協働事業の提案」が23.3%で最も高くなっています。

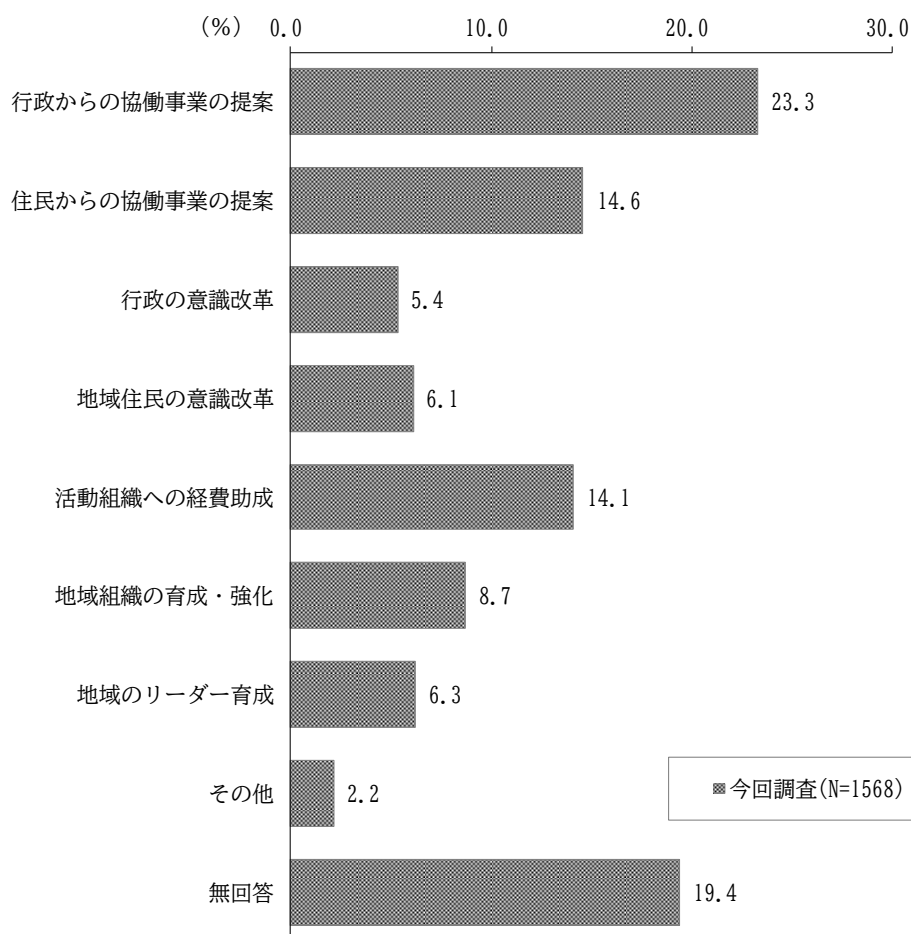
年齢別にみると、20歳代と70歳以上で「行政からの協働事業の提案」が20%台で他の年齢層に比べて低くなっています。



(回答は2つまで)

		(n=)	行政からの協働事業の提案	住民からの協働事業の提案	行政の意識改革	地域住民の意識改革	活動組織への経費助成	地域組織の育成・強化	地域のリーダー育成	その他	無回答
全体		1568	518	484	155	188	412	348	218	46	304
			33.0%	30.9%	9.9%	12.0%	26.3%	22.2%	13.9%	2.9%	19.4%
年齢	20歳～29歳	82	24	28	14	15	20	23	8	4	7
			29.3%	34.1%	17.1%	18.3%	24.4%	28.0%	9.8%	4.9%	8.5%
	30歳～39歳	145	62	50	14	17	45	25	15	4	17
			42.8%	34.5%	9.7%	11.7%	31.0%	17.2%	10.3%	2.8%	11.7%
	40歳～49歳	221	88	76	27	25	71	47	24	8	22
			39.8%	34.4%	12.2%	11.3%	32.1%	21.3%	10.9%	3.6%	10.0%
	50歳～59歳	261	93	82	32	37	72	51	31	8	39
		35.6%	31.4%	12.3%	14.2%	27.6%	19.5%	11.9%	3.1%	14.9%	
60歳～69歳	268	96	101	24	26	69	57	39	7	48	
		35.8%	37.7%	9.0%	9.7%	25.7%	21.3%	14.6%	2.6%	17.9%	
70歳以上	579	151	144	44	66	134	143	99	14	167	
		26.1%	24.9%	7.6%	11.4%	23.1%	24.7%	17.1%	2.4%	28.8%	

【行政との協働活動の充実のために必要なこと：第1位】



問 20 郷土の誇りや宝（自由意見）

【時津町の誇り・宝】

具体的な回答は1,038件あり、最も多かったのは「さばくさらかし岩（継石坊主）」の258件です。「安心感・住み良さ」（172件）、「豊かな自然」（137件）、「商業施設が充実している」（69件）、「住民・コミュニティ」（63件）などが続いています。

【来訪者を案内する町内の場所】

具体的な回答は758件あり、最も多かったのは「さばくさらかし岩（継石坊主）」の181件です。「ウォーターフロント公園」（148件）、「崎野自然公園」（130件）、「商業施設」（99件）で、「史跡（茶屋本陣など）」（58件）などが続いています。

【時津町のお土産として利用するもの】

具体的な回答は1,033件あり、最も多かったのは「時津まんじゅう」の659件と圧倒的に多く、「ぶどう・巨峰」が282件と、時津まんじゅうとぶどう（巨峰）で大半を占めます。その他、「みかん」（47件）、「海産物」（37件）、「菓子類（カステラなど）」（34件）などが続いています。

誇り・宝		案内する場所		お土産	
さばくさらかし岩	258	さばくさらかし岩	181	時津まんじゅう	659
安心感・住み良さ	172	ウォーターフロント公園	148	ぶどう・巨峰	282
豊かな自然	137	崎野自然公園	130	みかん	47
商業施設が充実	69	商業施設	99	海産物	37
住民・コミュニティ	63	史跡	58	菓子類	18
その他	225	その他	165	その他	77
計	1038	計	758	計	1003

問 21 第6次総合計画の施策に対する満足度

第6次総合計画は、6分野38施策で構成されています。

分野別でみると、「にぎわいのある快適なまちを創る」「安全・安心で美しいまちを創る」の2分野の満足度が比較的高くなっています。

施策別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせて50%を超えているのは「公園・緑地の整備」(54.8%)の1施策のみとなっています。

分野毎にみると以下のような結果となっています。

【にぎわいのある快適なまちを創る】

「公園・緑地の整備」(54.8%)について、「道路網の整備」(46.6%)、「快適な市街地の整備」(45.8%)の満足度も比較的高くなっています。

その他の施策も概ね30~40%以上の満足度は得ていますが、「郷土意識の高揚」(26.7%)は他の施策に比べて低くなっています。

【活力と夢のあるまちを創る】

各施策とも20~30%の満足度を得ています。その中でも「商業の振興」(39.2%)が高くなっています。

【健やかで笑顔のあるまちを創る】

「医療の充実」(37.8%)と「健康づくりの推進・保健事業の充実」(37.1%)の満足度が高く、その他の施策も概ね20~30%の満足度を得ていますが、「障害者福祉の充実」は21.0%と他の施策に比べて低くなっています。

【安全・安心で美しいまちを創る】

各施策とも30~40%の満足度を得ています。その中でも「ゴミ減量化の推進」(49.0%)、「美しい景観の形成」(43.6%)の2施策の満足度が40%台で高くなっています。

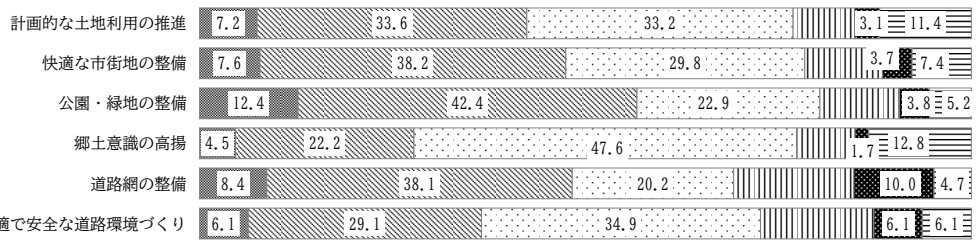
【豊かな心と学びのあるまちを創る】

「芸術・文化の振興」(43.6%)、「生涯スポーツ活動の推進」(30.8%)の満足度が高くなっています。その他の施策は20%台となっています。

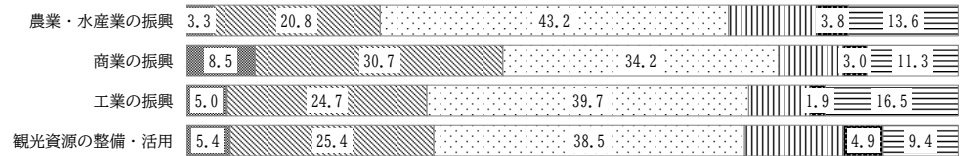
【みんなの参加でまちを創る】

「広報・公聴機会の拡充」(39.2%)、「情報公開の推進」(33.2%)、「コミュニティ施設の利用促進」(31.4%)の3施策の満足度が比較的高くなっています。一方、「人権の啓発」(18.2%)、「男女共同参画の推進」(18.9%)は満足度が低くなっています。その他の施策は20%台の満足度を得ています。

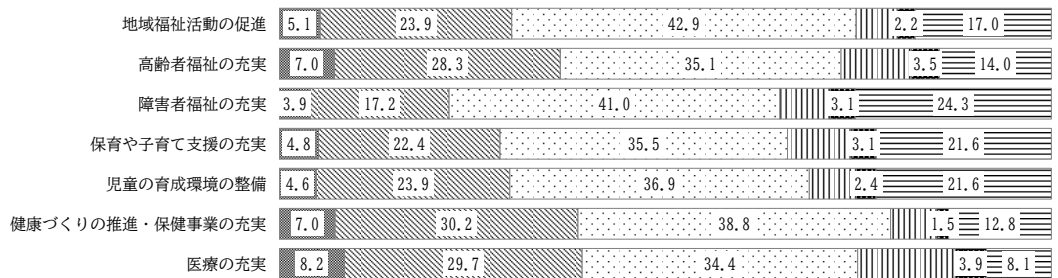
【にぎわいのある快適なまちを創る】 (N=1568)



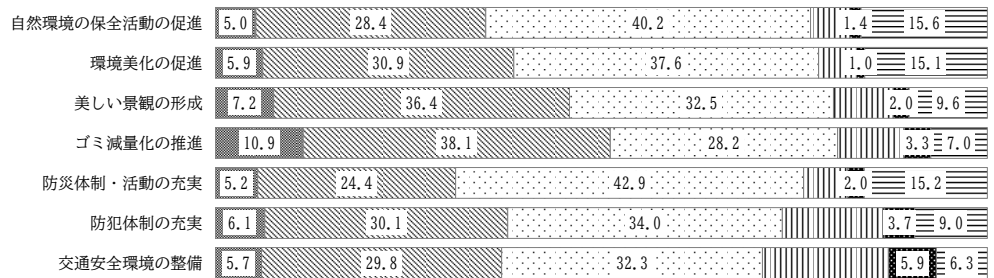
【活力と夢のあるまちを創る】



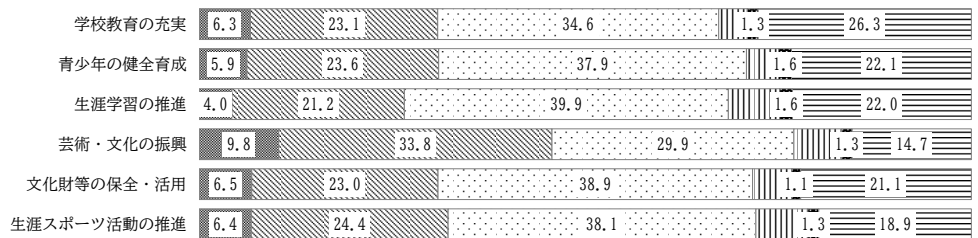
【健やかで笑顔のあるまちを創る】



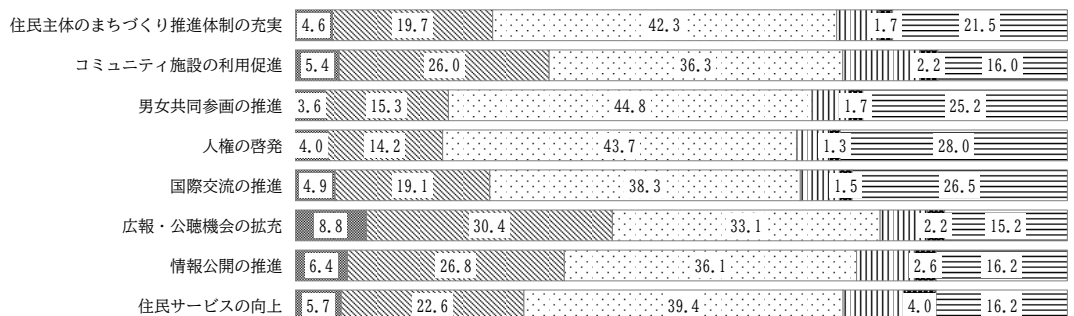
【安全・安心して美しいまちを創る】



【豊かな心と学びのあるまちを創る】



【みんなの参加でまちを創る】



■満足 □やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満 □わからない

(それぞれ回答は1つのみ)

		(n=)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	無回答
快適なまちを創る	1. 計画的な土地利用の推進	1568	113 7.2%	527 33.6%	520 33.2%	120 7.7%	49 3.1%	179 11.4%	60 3.8%
	2. 快適な市街地の整備	1568	119 7.6%	599 38.2%	468 29.8%	152 9.7%	58 3.7%	116 7.4%	56 3.6%
	3. 公園・緑地の整備	1568	194 12.4%	665 42.4%	359 22.9%	156 9.9%	59 3.8%	82 5.2%	53 3.4%
	4. 郷土意識の高揚	1568	71 4.5%	348 22.2%	746 47.6%	114 7.3%	27 1.7%	200 12.8%	62 4.0%
	5. 道路網の整備	1568	132 8.4%	598 38.1%	316 20.2%	235 15.0%	157 10.0%	73 4.7%	57 3.6%
	6. 快適で安全な道路環境づくり	1568	96 6.1%	457 29.1%	547 34.9%	222 14.2%	95 6.1%	96 6.1%	55 3.5%
活力を創る	1. 農業・水産業の振興	1568	51 3.3%	326 20.8%	677 43.2%	172 11.0%	60 3.8%	214 13.6%	68 4.3%
	2. 商業の振興	1568	134 8.5%	481 30.7%	536 34.2%	124 7.9%	47 3.0%	177 11.3%	69 4.4%
	3. 工業の振興	1568	79 5.0%	388 24.7%	623 39.7%	119 7.6%	30 1.9%	258 16.5%	71 4.5%
	4. 観光資源の整備・活用	1568	85 5.4%	398 25.4%	604 38.5%	193 12.3%	77 4.9%	147 9.4%	64 4.1%
健やかで笑顔のあるまちを創る	1. 地域福祉活動の促進	1568	80 5.1%	374 23.9%	672 42.9%	80 5.1%	35 2.2%	266 17.0%	61 3.9%
	2. 高齢者福祉の充実	1568	109 7.0%	443 28.3%	551 35.1%	138 8.8%	55 3.5%	220 14.0%	52 3.3%
	3. 障害者福祉の充実	1568	61 3.9%	269 17.2%	643 41.0%	98 6.3%	48 3.1%	381 24.3%	68 4.3%
	4. 保育や子育て支援の充実	1568	76 4.8%	352 22.4%	557 35.5%	123 7.8%	49 3.1%	339 21.6%	72 4.6%
	5. 児童の育成環境の整備	1568	72 4.6%	374 23.9%	579 36.9%	91 5.8%	38 2.4%	339 21.6%	75 4.8%
	6. 健康づくりの推進・保健事業の充実	1568	109 7.0%	473 30.2%	609 38.8%	90 5.7%	23 1.5%	200 12.8%	64 4.1%
	7. 医療の充実	1568	128 8.2%	465 29.7%	539 34.4%	191 12.2%	61 3.9%	127 8.1%	57 3.6%
安全・安心で美しいまちを創る	1. 自然環境の保全活動の促進	1568	79 5.0%	446 28.4%	630 40.2%	76 4.8%	22 1.4%	245 15.6%	70 4.5%
	2. 環境美化の促進	1568	92 5.9%	485 30.9%	589 37.6%	73 4.7%	16 1.0%	237 15.1%	76 4.8%
	3. 美しい景観の形成	1568	113 7.2%	571 36.4%	510 32.5%	115 7.3%	31 2.0%	151 9.6%	77 4.9%
	4. ゴミ減量化の推進	1568	171 10.9%	597 38.1%	442 28.2%	129 8.2%	52 3.3%	110 7.0%	67 4.3%
	5. 防災体制・活動の充実	1568	82 5.2%	383 24.4%	673 42.9%	85 5.4%	32 2.0%	238 15.2%	75 4.8%
	6. 防犯体制の充実	1568	96 6.1%	472 30.1%	533 34.0%	199 12.7%	58 3.7%	141 9.0%	69 4.4%
	7. 交通安全環境の整備	1568	90 5.7%	467 29.8%	507 32.3%	245 15.6%	93 5.9%	99 6.3%	67 4.3%
豊かな心と学びのあるまちを創る	1. 学校教育の充実	1568	99 6.3%	362 23.1%	543 34.6%	55 3.5%	21 1.3%	412 26.3%	76 4.8%
	2. 青少年の健全育成	1568	92 5.9%	370 23.6%	594 37.9%	62 4.0%	25 1.6%	347 22.1%	78 5.0%
	3. 生涯学習の推進	1568	63 4.0%	333 21.2%	625 39.9%	99 6.3%	25 1.6%	345 22.0%	78 5.0%
	4. 芸術・文化の振興	1568	154 9.8%	530 33.8%	469 29.9%	93 5.9%	20 1.3%	231 14.7%	71 4.5%
	5. 文化財等の保全・活用	1568	102 6.5%	361 23.0%	610 38.9%	76 4.8%	17 1.1%	331 21.1%	71 4.5%
	6. 生涯スポーツ活動の推進	1568	101 6.4%	382 24.4%	597 38.1%	101 6.4%	21 1.3%	296 18.9%	70 4.5%
みんなの参加でまちを創る	1. 住民主体のまちづくり推進体制の充実	1568	72 4.6%	309 19.7%	664 42.3%	81 5.2%	27 1.7%	337 21.5%	78 5.0%
	2. コミュニティ施設の利用促進	1568	85 5.4%	407 26.0%	569 36.3%	149 9.5%	35 2.2%	251 16.0%	72 4.6%
	3. 男女共同参画の推進	1568	56 3.6%	240 15.3%	702 44.8%	71 4.5%	27 1.7%	395 25.2%	77 4.9%
	4. 人権の啓発	1568	62 4.0%	223 14.2%	685 43.7%	63 4.0%	21 1.3%	439 28.0%	75 4.8%
	5. 国際交流の推進	1568	77 4.9%	299 19.1%	600 38.3%	76 4.8%	24 1.5%	416 26.5%	76 4.8%
	6. 広報・公聴会会の拡充	1568	138 8.8%	477 30.4%	519 33.1%	91 5.8%	34 2.2%	238 15.2%	71 4.5%
	7. 情報公開の推進	1568	101 6.4%	420 26.8%	566 36.1%	113 7.2%	41 2.6%	254 16.2%	73 4.7%
	8. 住民サービスの向上	1568	89 5.7%	354 22.6%	618 39.4%	117 7.5%	63 4.0%	254 16.2%	73 4.7%

問 22 まちづくりに対するアイデアや提案（自由意見）

まちづくりに対するアイデアや提案について、記入いただいた自由意見を次の7領域に分類しました。

◇にぎわいと住みやすさのあるまちづくり	(201 件)
◇穏やかで笑顔のあるまちを創る	(101 件)
◇安全で安心な美しいまちを創る	(94 件)
◇みんなの参加でまちを創る	(79 件)
◇活力と夢のあるまちを創る	(52 件)
◇豊かな心と学びのあるまちを創る	(39 件)
◇その他	(21 件)

本アンケートの回答者 1,568 人に対し、自由意見の記入は 34.2%にあたる 536 人で、意見総数は 587 件でした。

■にぎわいと住みやすさのあるまちを創る（201 件）

○快適で安全な交通環境が整ったまち（136 件）

「にぎわいと住みやすさのあるまちを創る」の内訳として“交通環境の整備”に関する意見が半数以上を占めています。特に「交通渋滞の緩和とそのための道路網の整備」(72 件)への意見が最も多くなっています。

緊急車両が渋滞に巻き込まれている、渋滞していることが要因で「外出を控える」など市民生活の安全やにぎわいへの影響につながる意見がみられます。

○安全な道路環境が整ったまち（39 件）

安全な「道路の整備」への意見は多岐にわたっています。誰もが安全で安心して自転車や徒歩などの移動できることへの改善として「道幅の改善」「道幅が狭い場所でのミラーの設置」「街燈の設置」「雑草や草木の処理」への要望が多くみられます。

○住みやすいまち（29 件）

「ゴミの回収や処理方法の改善」(20 件)への意見が最も多くなっています。特にリサイクル活動に対しての意見・アイデアとして「リサイクル BOX の設置などゴミステーションの改善」「リサイクルゴミの収集日の増加」「粗大ごみの回収方法」(各 4 件)が挙げられています。衛生的なだけでなく地域社会の中で持続可能な意識が高まっていることがみられます。

○快適な住環境が整ったまち（9件）

住環境の意見のうち、「集合住宅を増やす」（4件）への意見があり、課題として空きがないこと・費用が高いことなどがみられます。「土地の利活用」については宅地や商業施設への利用など活気につながる意見がみられます。

○コミュニティの活性化・活気が感じられるまち（31件）

「商業・公共施設やイベントの充実を期待」（23件）への意見が主で、普段の買い物の利便性を高めたい・図書館や子ども向け施設の充実・ウォーターフロントの有効活用についての意見が見られます。人が集う場所を増やすことで町全体のにぎわいや活気を求めるニーズがみられます。

○行政・公共サービスが充実しているまち（10件）

前述した“にぎわいと住みやすさのあるまちを創る”具体的なまちづくりへのご意見を実現するための施策として行政・公共サービスの充実を求める声が見られます。「窓口でのサービス品質の向上」「住みやすい町づくりへの要望」となっています。

■穏やかで笑顔のあるまちを創る（101件）

○子育てしやすい・子どもが喜ぶ・少子化対策が充実したまち（49件）

「子どもが安全に楽しめる公園や遊具の充実」（19件）が最も多く挙げられ、次いで「保育園など働く親が安心して子どもを預けられる場所」（9件）が主な意見となっています。その他、「妊婦や出産に対する補助や支援」や「給食費・子育て補助」（2件）といった意見も見られました。物理的な対策にとどまらず、「子どもを持つ働く親のコミュニティ」や「町民同士のコミュニケーション活性化」といったソフト面の提案も挙げられています。

○高齢者向け・自身の将来を見据えた医療や福祉が充実したまち（45件）

「医療費をはじめとする高齢者生活の保護や福祉」（27件）が最も多くみられます。現在高齢者の方の課題だけでなく、将来を見据えた不安や課題を軽減するようなニーズが多くみられます。子育て世代などでは「小児科に向けた医療機関や補助の充実」（9件）が挙げられています。上記のようなニーズに対応するための提案としては「医療と行政の協力」（例：手続きの簡略化や補助申請や条件の緩和）が挙げられています。

■安全で安心な美しいまちを創る（94件）

○自然環境が保護をはじめとする景観が美しいまち（27件）

「花や緑がある自然環境が豊かなまち」（9件）や「自然を生かす土地活用を望む」（7件）など、町の自然保護や緑化に対するニーズが多く寄せられています。また、町の整備方法に対する意見や提案も見られ、自然環境との調和を重視したまちづくりが求められていることがうかがえます。

○公園が整備されており子どもたちが安全に育つまち（26件）

「公園の遊具の劣化が進んでいる」「気温上昇に伴い屋内施設の設置や屋外施設の暑さ対策」（特にウォーターフロントの整備）への対応が求められる意見が多くみられます。子どもたちが屋外で元気に遊ぶ姿は、町の活気を象徴するとともに、未来への安心感をもたらすことができる効果があることがうかがえます。

○その他

「安全で安心できる交通環境の整備」（12件）「災害時の防災対策や情報伝達の改善」（12件）があります。

■みんなの参加でまちを創る（79件）

「住民同士・役場とのコミュニケーション促進ができるまち」（37件）が最も多くなっています。例えば住民同士のコミュニケーションは「自治会への参加を促進」（21件）「若者や移住者の地域活動参加を促進」（13件）などが提案されています。また「役場とのコミュニケーション」（21件）も次いで主な意見となっています。内訳としては「住民向けの行政サービス（住民票などの交付・申請手続き）や休日窓口の対応」（13件）「スピーカーからの音声情報の改善」（4件）などへの意見が多くなっています。

その他、「本アンケートへの改善」（4件）などの意見がありました。

■活力と夢のあるまちを創る（52件）

「商業施設の充実」（12件）が最も多く挙げられました。生活の利便性向上だけでなく、「人が集う＝にぎわう」きっかけとして、大型施設や話題の店舗の誘致を求める声が多いようです。ついで「観光資源・特産品の活用」（10件）がみられます。現在の時津町には、人を集められる観光資源や特産品が少ないことを懸念する声がある一方で、他にはない「時津ならではの」魅力を打ち出すべきとの提案も見受けられます。その他、「交通・道路整備」（7件）、「地域振興券の再実施」（6件）「耕作放棄地の有効活用」などの意見がありました。

■豊かな心と学びのあるまちを創る（34件）

○町民が活用できる公共施設が充実しているまち（19件）

公共施設の内訳として、「スポーツ施設の整備や充実」（9件）が最も多く、現在の設備の改善（エアコン・照明の完備）や利用申請のしやすさなどへの提案がされています。また、スポーツ施設を整備・充実させることで時津町民だけでなく町外からの利用促進にもつながる意見がみられます。

「図書館の利用促進」（7件）が最も多く、学生に向けては自習・大人に向けては会議やコミュニケーションの場・高齢者に向けては痴ほう防止など広い活用方法が提案されています。

○将来を担う子どもたちへの教育を推進していけるまち（13件）

「学校での勉強以外の教育」への意見がみられます。具体的には投票の大切さ、コミュニケーションの大切さ、フリースクールや学童など教育支援を行う人員の確保などを提案されています。

■その他（10件）

その他の内容は様々ですが、本調査の対象抽出、設問や選択肢など「アンケート調査」に関する意見がやや多くなっています。

第3章 資料編

1. 属性別クロス分析

属性別クロス分析は、「年齢」については第2章で掲載しているので、ここでは、「性別」「職業別」「居住地区別」「居住年数別」の4つの属性について整理します。

① 性別

1) 問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野

地域産業振興について特に力を注ぐべき分野については、男女ともに、「商業の振興」(41.0%、42.9%)の割合が最も高くなっています。

その他、男性は「工場など新たな企業の誘致」(35.3%)、「既存の工業（製造業）の育成」(32.8%)を挙げる割合が女性よりも高くなっています。

単位(%)	農林業（漁業）の振興	既存の工業（製造業）の育成	工場など新たな企業の誘致	地域の素材を活かした加工業の育成	商業の振興	観光産業の振興	その他	無回答
全体(N=1568)	24.7	28.2	28.0	30.4	41.6	11.0	1.2	15.8
【性別】								
男性(N=597)	24.1	32.8	35.3	26.8	41.0	10.1	1.3	13.2
女性(N=910)	25.4	25.4	24.0	32.4	42.9	12.0	1.2	16.3

2) 問10 安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策

安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策については、男女ともに「犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪・ハイテク犯罪の防止など）の強化」「自然災害を防止するための公共事業」「住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進（こども110番、防犯パトロール活動など）」が上位に挙げられています。男性は「犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪・ハイテク犯罪の防止など）の強化」(41.0%)、女性は「自然災害を防止するための公共事業」(39.2%)の割合が最も高くなっています。

単位(%)	防犯対策の強化	パトロール活動など	安全な地域づくり活動	住民と行政が一体となった活動	住宅の充実	体質の改善	詐欺的商法などからの消費	公共事業	自然災害を防止するための	交番・駐在所などの充実	信号の整備など交通安全対策	その他	無回答
全体(N=1568)	38.0	30.3	24.4	37.8	15.1	23.3	1.0	14.1					
【性別】													
男性(N=597)	41.0	30.0	27.5	36.5	13.7	23.8	0.8	12.2					
女性(N=910)	36.3	31.2	22.4	39.2	16.0	23.8	1.1	14.1					

4) 問11 老後への不安

老後への不安については、男女ともに「心身の健康の問題」「配偶者やご自身の介護の問題」「生活費の問題」が上位に挙げられていますが、男性は「配偶者やご自身の介護の問題」(50.3%)、女性は「心身の健康の問題」(51.4%)の割合が最も高くなっています。

単位(%)	心身の健康の問題	配偶者やご自身の介護の問題	仕事の問題	生活費の問題	生きがいや趣味の問題	家や家族の問題	その他	無回答
全体(N=1568)	49.1	47.3	6.5	44.1	11.1	11.3	1.1	13.6
【性別】								
男性(N=597)	45.9	50.3	8.0	44.6	12.1	11.1	0.7	12.2
女性(N=910)	51.4	45.8	5.9	44.9	10.5	11.4	1.4	13.5

5) 問 13 生涯学習活動を充実するうえで重要なこと

生涯学習活動を充実するうえで重要なことについては、男女ともに「町民の学習・文化・スポーツなど活動施設の整備」「施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化」「施設の利用や講座・サークル等に関する各種情報提供の充実」が上位に挙げられています。

その他、男性は「イベント（祭りや行事、大会など）の充実、開発」（25.3%）を挙げる割合が女性よりも高く、女性は「各種講座・教室の開催日、時間、場所などの改善」（22.6%）を挙げる割合が男性よりも高くなっています。

単位(%)	町民の学習・文化・スポーツなど活動施設の整備	学校の施設促進	施設の活用時間や管理体制	各種講座・教室の内容	各種講座・教室の開催日、時間、場所などの改善	施設に関する各種情報提供	市民大会、交流会などの充実	市民の学習成果の発表会や交流	サークル活動やリーダー養成への支援強化	各種指導員の増員など	イベント（祭りや行事、大会など）の充実、開発	その他	無回答
全体(N=1568)	52.7	14.2	42.4	28.1	19.6	30.7	7.0	10.1	15.0	20.8	1.7	15.9	
【性別】													
男性(N=597)	56.3	16.9	45.9	24.5	15.6	29.0	9.0	12.4	13.6	25.3	2.0	13.4	
女性(N=910)	52.0	12.4	41.0	30.8	22.6	32.0	5.8	8.6	16.0	18.9	1.5	15.8	

6) 問16 まちづくりのために参加したい(できる)活動

まちづくりのために参加したい(できる)活動については、男女ともに、「美しい町をつくるための【花いっぱい活動や清掃活動】」の割合が最も高くなっています。

その他、男性では「地域の自然を守り育てる【自然保護・愛護活動】」(34.2%)、「安全に暮らせる町をめざす【交通安全・防犯・防災活動】」(30.0%)、「スポーツ・保健事業への参加・協力など【健康なまちづくり活動】」(23.3%)を挙げる割合が女性よりも高く、女性では、「高齢者や困っている人たちへの【福祉ボランティア活動】」(30.5%)を挙げる割合が男性よりも高くなっています

単位(%)	【美しい町をつくるための活動や清掃活動】	【地域の自然を守り育てる【自然保護・愛護活動】】	【資源のムダをなくし地球環境を守る【リサイクル活動や省資源活動】】	【高齢者や困っている人たちへの【福祉ボランティア活動】】	【郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える【歴史文化活動】】	【子ども会やPTA、健全育成組織等を通じた【児童・青少年の育成活動】】	【スポーツ・保健事業への参加・協力など【健康なまちづくり活動】】
全体(N=1568)	40.1	28.2	31.9	26.9	8.9	11.1	18.3
【性別】							
男性(N=597)	35.2	34.2	33.3	20.9	12.6	9.7	23.3
女性(N=910)	44.1	24.8	31.5	30.5	6.7	12.5	15.4
単位(%)	【安全に暮らせる町をめざす【交通安全・防犯・防災活動】】	【ペーロン大会やお祭り、文化祭、体祭など【町や地区の各種行事実行活動】】	【町民相互や観光客へのあいさつや親睦の心がけ【観光客へのあいさつや親睦の心がけ】】	【ホームステイ(民間宿泊)の受け入れなど【国内外との地域交流活動】】	【まちづくりの企画・研究やリーダーなど【まちづくりの企画・研究やリーダー】】	【その他】	【無回答】
全体(N=1568)	24.7	8.2	14.9	3.0	6.8	2.9	17.8
【性別】							
男性(N=597)	30.0	8.4	12.7	2.5	9.9	2.2	15.6
女性(N=910)	21.4	8.4	16.5	3.5	4.8	3.5	17.9

7) 問 18 行政運営に対する要望

行政運営に対する要望については、男女ともに「閉庁日や時間外などの行政サービスの対応」(33.2%、35.7%)の割合が最も高くなっています。

その他、男性は「地域と行政の連携強化(広報・広報活動の充実など)」(26.5%)を挙げる割合が女性よりも高くなっています。

単位(%)	(行政職員の資力の向上)	窓口業務や電話などの改善	窓口業務の迅速化	閉庁日や時間外などの対応	地域と行政の連携強化(広報・広報活動の充実など)	開かれ、親しみのもてる環境づくり	その他	無回答
全体(N=1568)	25.6	23.2	21.2	34.1	21.9	29.7	4.3	14.9
【性別】								
男性(N=597)	28.5	20.9	22.1	33.2	26.5	30.0	4.9	12.7
女性(N=910)	24.5	25.1	20.9	35.7	19.0	29.9	4.0	14.7

② 職業別

1) 問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐ分野としては、製造業・建設業、公務・団体勤務、その他の職業で「道路の整備」、商業・観光・サービス業、無職で「福祉の充実」の割合が最も高くなっています。

その他、公務・団体勤務等で「教育・文化・スポーツの振興」(41.1%)の割合が全体と比べて高くなっています。

単位(%)	大産業の振興、雇用の場の拡大	道路の整備	バスなどの公共交通機関の充実	市街地や商店街の整備	町営住宅や宅地の整備供給	水道や下水道の整備	ごみやし尿処理の充実	環境保全や公害防止対策の充実	公園や広場、遊び場の整備	交通安全や消防・防災対策の充実
全体(N=1568)	33.2	38.3	38.6	19.6	10.0	6.6	6.6	13.6	23.2	21.4
【職業別】										
農業(N=16)	43.8	18.8	18.8	18.8	0.0	12.5	0.0	25.0	6.3	25.0
漁業(N=4)	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
製造業・建設業(N=168)	40.5	53.0	36.3	25.6	11.3	7.7	4.8	8.9	33.9	22.0
商業・観光・サービス業(N=217)	35.9	39.2	41.0	20.7	19.4	5.5	6.9	18.4	25.3	22.1
公務・団体勤務等(N=112)	37.5	46.4	39.3	19.6	7.1	7.1	8.0	6.3	29.5	26.8
その他の職業(N=358)	33.5	44.4	39.7	22.6	10.3	7.0	7.0	15.1	24.6	20.4
無職(N=668)	29.3	30.5	38.5	16.3	7.6	6.3	6.4	13.8	18.1	20.8
単位(%)	まち並み景観や緑化など美しい	犯罪のない安全で安心なまちづくり	福祉の充実	保健健康づくり・医療の充実	まちづくりを担う人材の育成	教育・文化・スポーツの振興	コミュニティ施設の充実(地域活動)	内外との交流や国際化の推進	その他	無回答
全体(N=1568)	17.2	40.0	46.7	36.3	22.0	20.9	6.4	2.5	2.6	15.3
【職業別】										
農業(N=16)	6.3	37.5	37.5	25.0	31.3	6.3	12.5	6.3	6.3	25.0
漁業(N=4)	25.0	25.0	0.0	75.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
製造業・建設業(N=168)	17.3	32.1	32.1	30.4	24.4	21.4	4.8	2.4	4.2	14.3
商業・観光・サービス業(N=217)	18.4	41.5	41.9	33.6	21.2	21.7	6.5	2.8	1.4	12.9
公務・団体勤務等(N=112)	10.7	33.0	43.8	38.4	29.5	41.1	2.7	1.8	2.7	9.8
その他の職業(N=358)	19.0	39.4	42.7	32.7	20.1	24.6	6.1	2.8	3.1	12.0
無職(N=668)	16.9	43.4	55.5	40.9	21.4	15.9	7.3	2.1	2.2	18.0

2) 問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野

地域産業振興について特に力を注ぐべき分野としては、商業・観光・サービス業で「商業の振興」(56.2%)の割合が特に高くなっています。

単位(%)	農林業 (漁業) の振興	既存の工業 (製造業) の育	工場など 新たな企業 の誘致	地域の素材 を活かした 加工	商業の 振興	観光産業 の振興	その他	無回答
全体(N=1568)	24.7	28.2	28.0	30.4	41.6	11.0	1.2	15.8
【職業別】								
農業(N=16)	56.3	12.5	6.3	31.3	31.3	0.0	12.5	18.8
漁業(N=4)	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
製造業・建設業(N=168)	22.0	35.7	33.3	28.6	42.3	9.5	0.6	13.1
商業・観光・サービス業(N=217)	24.0	23.5	29.5	24.9	56.2	11.1	0.9	13.4
公務・団体勤務等(N=112)	20.5	36.6	33.9	32.1	44.6	9.8	1.8	8.0
その他の職業(N=358)	20.1	30.2	26.3	29.9	45.0	13.4	0.8	14.2
無職(N=668)	28.1	26.5	26.9	32.3	35.6	10.6	1.3	18.3

3) 問 10 安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策

安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策については、公務・団体勤務等で「犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪・ハイテク犯罪の防止など）の強化」（50.0%）、「自然災害を防止するための公共事業」（44.6%）、「信号の整備など交通安全対策の充実」（34.8%）の割合が他の職業と比べて高くなっています。

単位(%)	防犯対策の強化	パトロール活動の強化	安全なまちづくり活動の推進	住民の生活の利便性の向上	住宅の耐震性の向上	体の健康の維持	詐欺被害の防止	公共事業	自然災害を防止するための	交番・駐在所などの充実	信号の整備など交通安全対策の充実	その他	無回答
全体(N=1568)	38.0	30.3	24.4	37.8	15.1	23.3	1.0	14.1					
【職業別】													
農業(N=16)	37.5	31.3	25.0	50.0	0.0	6.3	0.0	25.0					
漁業(N=4)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0					
製造業・建設業(N=168)	42.3	26.8	25.6	38.7	13.1	25.0	1.2	13.1					
商業・観光・サービス業(N=217)	38.2	26.3	25.3	37.8	19.4	25.8	0.9	12.4					
公務・団体勤務等(N=112)	50.0	24.1	19.6	44.6	8.9	34.8	0.9	7.1					
その他の職業(N=358)	39.7	29.3	20.4	38.8	15.9	27.1	0.8	12.3					
無職(N=668)	34.6	34.1	26.8	36.1	15.4	18.6	1.0	15.9					

③ 居住地区別

居住地区別としては4つの小学校区別にみえています。地区毎に大きな違いはみられません
が、以下の項目で若干の差がみられます。

1) 問4 10年くらい前と比べた住み良さの変化

10年くらい前と比べた住み良さの変化については、時津北小学校区で「かなり住み良くなった」の割合が45.6%と高く、「やや住み良くなった」と合わせた“住み良くなった”は92.5%と9割超え、他の地区と比べて高くなっています。

単位(%)	かなり住み良くなった	やや住み良くなった	やや住みにくくなった	かなり住みにくくなった
全体(N=1568)	37.8	49.2	8.0	1.2
【小学校区別】				
時津北小学校区(N=305)	45.6	46.9	3.3	1.6
鳴鼓小学校区(N=267)	39.0	49.1	6.7	1.9
時津小学校区(N=423)	35.7	48.7	11.1	1.2
時津東小学校区(N=564)	34.6	51.2	8.9	0.7

2) 問6 定住意向

定住意向については、鳴鼓小学校区で「今の場所に住み続けたい」と回答した人の割合が74.9%で他の地区と比べて低くなっています。

単位(%)	今の場所に 住み続けたい	町内の別の 場所に 移りたい	近くの市や 町へ 移りたい	県内のどこかへ 移りたい	県外に移りたい
全体(N=1568)	83.1	4.6	5.2	1.6	3.4
【小学校区別】					
時津北小学校区(N=305)	86.9	3.3	3.9	1.6	3.0
鳴鼓小学校区(N=267)	74.9	8.2	8.2	1.5	4.9
時津小学校区(N=423)	82.7	6.1	5.9	0.9	2.8
時津東小学校区(N=564)	85.5	2.5	4.1	2.0	3.5

2) 問6-1 移転したい理由

移転したい理由については、時津小学校区では「買い物が不便だから」(40.3%)の割合が他の地区と比べて突出して高くなっています。また、津北小学校区では「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」(33.3%)、「各種の行事等が多すぎてわずらわしいから」(22.2%)の割合が他の地区と比べて高くなっています。

単位(%)	がないから 自分にあつた仕事 (職場)	ら商 売や事 業経営 に不利だ か	勤務地 が遠い から	交通が 不便だ から	買物 が不便 だから	生活・ 住宅環 境が悪 いから	災害や 交通事 故など が不安 だから	医療や 福祉面 が不安 だから	子ども の教育 上の問 題から	ないか ら 娯楽や 余暇を 過ごす 場が少 ない	ずらわ しいか ら 各種の 行事等 が多 すぎ てわ
全体(N=233)	6.4	3.0	11.2	39.1	21.9	17.2	6.4	14.2	4.7	20.6	8.2
【小学校区別】											
時津北小学校区(N=36)	2.8	0.0	8.3	47.2	13.9	8.3	2.8	13.9	5.6	33.3	22.2
鳴鼓小学校区(N=61)	3.3	4.9	8.2	44.3	14.8	18.0	8.2	19.7	6.6	18.0	4.9
時津小学校区(N=67)	6.0	3.0	13.4	31.3	40.3	17.9	7.5	11.9	1.5	16.4	4.5
時津東小学校区(N=68)	11.8	2.9	13.2	38.2	14.7	20.6	5.9	11.8	5.9	20.6	7.4

単位(%)	（老 後の 生活 が高 齢が 不安 だか ら）	なか ら人 間関 係が 付か ない から （ま たは 生活 が不 安だ から）	そ の 他	無 回 答
全体(N=233)	22.7	8.6	21.9	21.5
【小学校区別】				
時津北小学校区(N=36)	16.7	11.1	19.4	25.0
鳴鼓小学校区(N=61)	26.2	6.6	14.8	26.2
時津小学校区(N=67)	26.9	10.4	17.9	17.9
時津東小学校区(N=68)	19.1	7.4	32.4	19.1

3) 問 13 生涯学習活動を充実するうえで重要なこと

生涯学習活動を充実するうえで重要なことについては、時津北小学校区で「町民の学習・文化・スポーツなど活動施設の整備」(59.0%)、「施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化」(50.8%)の割合が他の地区と比べて高くなっています。

単位(%)	町民の学習・文化・スポーツなど活動施設の整備	学校施設の地域への開放の促進	施設の利用時間や管理体制	各種講座・教室の内容やテーマの充実	各種講座・教室の開催日、場所などの改善	施設の利用や講座・サークル等に関する各種情報提供	町民の学習成果の発表会や交流会など	サークル活動やリーダー養成	各種指導員の増員など指導体制の充実	イベント(祭りや行事、大会など)の充実、開発	その他	無回答
全体(N=1568)	52.7	14.2	42.4	28.1	19.6	30.7	7.0	10.1	15.0	20.8	1.7	15.9
【小学校区別】												
時津北小学校区(N=305)	59.0	13.1	50.8	25.2	18.0	31.1	5.9	9.2	14.4	21.3	0.7	14.1
鳴鼓小学校区(N=267)	51.7	16.1	37.8	27.7	19.9	29.6	8.6	11.6	12.4	25.5	2.2	15.4
時津小学校区(N=423)	49.2	11.1	44.2	31.4	20.8	36.6	8.0	8.5	14.4	18.0	1.9	15.1
時津東小学校区(N=564)	52.7	16.3	38.8	27.7	19.5	26.4	6.0	11.2	17.0	20.4	1.8	17.4

④ 居住年数別

1) 問6 定住意向

定住意向については、居住年数で大きな差はありませんが、居住30年以上の人では「住み続けたい」の割合がおよそ9割と高く、30年未満居住者の8割以下と比べて高くなっています。

単位(%)	今の場所に住み続けたい	町内の別の場所に移りたい	近くの市や町へ移りたい	県内のどこかへ移りたい	県外に移りたい
全体(N=1568)	83.1	4.6	5.2	1.6	3.4
【居住年数】					
10年未満(N=299)	78.6	5.7	7.7	2.3	4.0
10年～19年(N=233)	78.5	3.9	7.7	1.7	6.4
20年～29年(N=250)	78.8	4.4	9.6	1.2	5.2
30年以上(N=732)	87.7	4.4	2.0	1.5	1.9

2) 問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐ分野としては、19年未満の居住者で「道路の整備」、20年以上居住している人で「福祉の充実」の割合が最も高くなっています。

単位(%)	産業の振興、雇用の場の拡大	道路の整備	バスなどの公共交通機関の充実	市街地や商店街の整備	町営住宅や宅地の整備供給	水道や下水道の整備	ごみやし尿処理の充実	環境保全や公害防止対策の充実	公園や広場、遊び場の整備	交通安全や消防・防災対策の充実
全体(N=1568)	33.2	38.3	38.6	19.6	10.0	6.6	6.6	13.6	23.2	21.4
【居住年数】										
10年未満(N=299)	35.5	45.2	42.1	24.4	12.4	7.7	8.0	14.4	31.4	24.1
10年～19年(N=233)	34.8	45.5	42.1	22.7	14.2	5.2	6.4	10.7	27.9	20.6
20年～29年(N=250)	35.6	40.8	40.8	21.6	13.6	6.8	4.4	10.0	22.0	21.2
30年以上(N=732)	31.1	32.5	35.4	16.4	6.8	6.7	6.4	15.7	19.5	21.7
単位(%)	まち並み景観や緑化など美しいまちづくり	犯罪のない安全で安心なまちづくり	福祉の充実	保健健康づくり・医療の充実	まちづくりを担う人材の育成・確保	教育・文化・スポーツの振興	コミュニティの充実(地域活動、集会施設など)	内外との交流や国際化の推進	その他	無回答
全体(N=1568)	17.2	40.0	46.7	36.3	22.0	20.9	6.4	2.5	2.6	15.3
【居住年数】										
10年未満(N=299)	21.4	41.1	33.1	32.1	18.1	25.8	7.4	2.0	5.7	9.7
10年～19年(N=233)	15.0	33.9	43.8	31.8	22.7	21.9	4.7	2.1	2.1	14.6
20年～29年(N=250)	15.6	31.6	48.0	36.8	20.4	24.4	5.2	2.4	2.0	15.2
30年以上(N=732)	16.8	44.3	52.9	39.2	23.9	18.0	7.2	2.9	1.8	16.9

4) 問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野

地域産業振興について特に力を注ぐべき分野としては、10年未満の居住者で「商業の振興」(50.5%)の割合が5割を超えて全体と比べて高くなっています。

単位(%)	農林業(漁業)の振興	既存の工業(製造業)の育成	工場など新たな企業の誘致	地域の素材を活かした加工	商業の振興	観光産業の振興	その他	無回答
全体(N=1568)	24.7	28.2	28.0	30.4	41.6	11.0	1.2	15.8
【居住年数】								
10年未満(N=299)	22.1	28.1	24.1	30.1	50.5	19.1	0.7	11.0
10年～19年(N=233)	21.9	28.8	21.9	36.5	42.9	14.6	1.7	12.9
20年～29年(N=250)	20.0	28.0	38.0	25.2	45.6	9.2	1.6	14.4
30年以上(N=732)	28.6	28.4	28.6	30.1	37.2	7.2	1.2	18.2

5) 問 10 安全なまちづくりのために力を注ぐべき分野

安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策については、居住 20～29 年の人で「住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進（こども 110 番、防犯パトロール活動など）」（19.2%）、居住 30 年以上の人で「信号の整備など交通安全対策の充実」（18.6%）の割合が他の居住年数と比べて低くなっています。

単位(%)	ハイテク犯罪（暴力団犯罪・外国人犯罪・	防犯パトロール活動（こども 110 番、	住民と行政が一体となった安全な地域	詐欺的商法などからの消費者の保護（警察等での相談体制の充実など）	自然災害を防止するための公共事業	交番・駐在所などの充実	信号の整備など交通安全対策の充実	その他	無回答
全体(N=1568)	38.0	30.3	24.4	37.8	15.1	23.3	1.0	14.1	
【居住年数】									
10年未満(N=299)	40.8	31.1	18.4	41.1	18.4	27.8	1.3	9.0	
10年～19年(N=233)	35.6	28.3	21.9	38.2	21.9	27.5	0.4	11.6	
20年～29年(N=250)	39.6	19.2	22.8	38.8	16.0	30.0	2.0	14.4	
30年以上(N=732)	36.7	34.6	27.6	36.7	12.0	18.6	0.8	16.0	

6) 問 16 まちづくりのために参加したい(できる)活動

まちづくりへの参加方法については、いずれの居住年数も「選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい」の割合が最も高くなっています。

その他、居住 10 年未満の人では「関心がない」(22.4%) の割合が他の居住年数と比べて高くなっています。

単位(%)	動「美しい町をいつくため活	「地域の自然保護・愛護活動」	資源を守る活動「リサイクル活動や環境	資源のムダをなくし地球環境	高齢者や困っている人たちの	郷土の歴史や文化を学び、後	「児童・青少年の育成活動」	子ども会やPTA、健全育成	「健康なまちづくり活動」	スポーツ・保健事業への参		
全体(N=1568)	40.1	28.2	31.9	26.9	8.9	11.1	18.3					
【居住年数】												
10年未満(N=299)	41.5	26.8	24.7	27.1	5.4	21.4	22.4					
10年～19年(N=233)	39.9	28.3	32.6	28.3	7.7	16.7	21.0					
20年～29年(N=250)	36.8	27.2	30.4	24.8	8.8	8.8	21.2					
30年以上(N=732)	40.7	29.4	34.8	26.6	10.0	6.1	15.6					
単位(%)	動「安全に暮らせる町を防災活	各種行事や祭りの実施など「町祭りや地区文	パレードや大会や祭り、文化	まちや親戚に運動がけ「明い	町民相互や観光客へのあ	域交流活動「(国民間宿泊の	受け入れなど「(国内外との	ホムステイ(民間宿泊の	の推進活動「(まちづくり	りまちづくりの企画・研究や	その他	無回答
全体(N=1568)	24.7	8.2	14.9	3.0	6.8	2.9	17.8					
【居住年数】												
10年未満(N=299)	23.4	12.0	18.4	3.7	7.7	4.0	11.0					
10年～19年(N=233)	26.6	8.2	12.9	4.3	6.0	3.0	14.2					
20年～29年(N=250)	27.6	7.2	17.6	4.0	7.6	3.6	16.0					
30年以上(N=732)	23.6	7.4	13.5	2.2	6.7	2.5	21.4					

2. 前回アンケート結果との比較分析

前回調査は、令和元年に第6次時津町総合計画の策定にあたり、アンケート調査を実施しています。

配布数は、今回調査と同じ5,000票を配布し、アンケートの設問内容も今回のアンケートとほぼ同じものです。

前回と今回のアンケート調査の回答者の属性を整理したものが以下の表です。

		令和6年 (今回)	令和元年 (前回)
配布数		5,000票	5,000票
回収数		1,568票	1,563票
回収率		31.4%	31.3%
性別	男性	38.1%	41.3%
	女性	58.0%	53.2%
年齢	20～29歳	5.2%	5.5%
	30～39歳	9.2%	10.2%
	40～49歳	14.1%	17.4%
	50～59歳	16.6%	13.2%
	60～69歳	17.1%	20.3%
	70歳以上	36.9%	32.1%
職業	農業	1.0%	1.7%
	漁業	0.3%	0.2%
	製造業・建設業	10.7%	10.7%
	商業・観光・サービス業	13.8%	11.8%
	公務・団体勤務等	7.1%	8.3%
	その他の職業	22.8%	21.9%
	無職	42.6%	43.0%
居住地域	北小学校区	19.5%	18.1%
	鳴鼓小学校区	17.0%	16.8%
	時津小学校区	27.0%	28.0%
	東小学校区	36.0%	35.9%
居住年数	10年未満	19.1%	18.6%
	10～19年	14.9%	14.5%
	20～29年	15.9%	16.6%
	30年以上	46.7%	46.2%

前回のアンケート調査結果との比較分析は、次の項目について、前回と今回の調査結果の比較分析を行います。

- ◇時津町のイメージ
- ◇時津町の住み良さ
- ◇地域の状況の変化
- ◇定住意向
- ◇望む町の将来像
- ◇今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

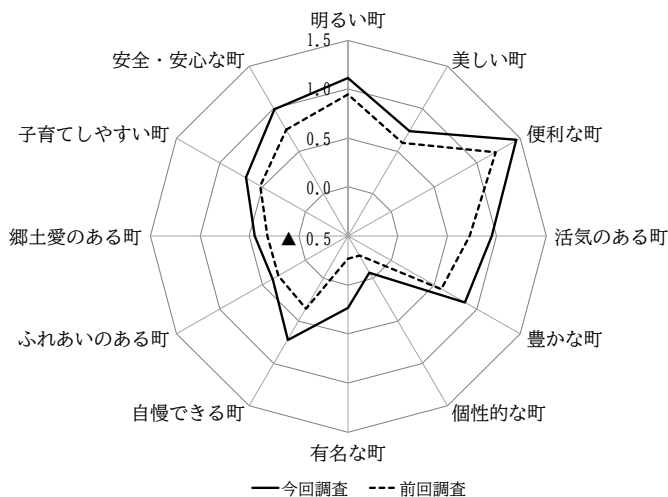
① 時津町のイメージ

前回のアンケート調査と同様、町のイメージについて得点化し、比較したものが下図です。前回と同様、「便利な町」(1.46点)の得点が最も高くなっています。

全てのイメージで「そう思う・計」が増加しています。中でも“有名な町である”については、「そう思う・計」が17.5%と大きく増加し、「そう思う・計」が「そう思わない・計」を上回り、逆転しています。

得点

$$= \frac{\text{「そう思う」} \times 2 + \text{「やや思う」} \times 1 + \text{「さほど思わない」} \times (-1) + \text{「そう思わない」} \times (-2) + \text{無回答} \times 0}{\text{総サンプル数}}$$

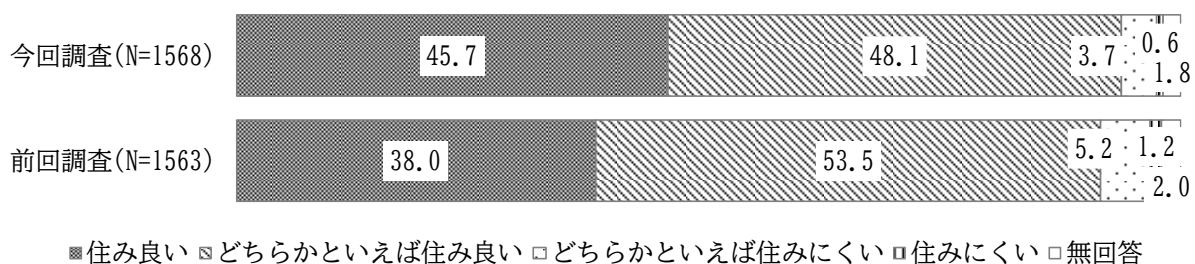


項目	今回調査	前回調査
明るい町	1.11	0.95
美しい町	0.74	0.60
便利な町	1.46	1.22
活気のある町	0.95	0.72
豊かな町	0.86	0.59
個性的な町	-0.07	-0.28
有名な町	0.24	-0.27
自慢できる町	0.72	0.36
ふれあいのある町	0.38	0.31
郷土愛のある町	0.45	0.32
子育てしやすい町	0.69	0.52
安全・安心な町	1.00	0.75

② 時津町の住み良さ

時津町の住み良さについては、「住み良い」(45.7%)、「どちらかといえば住み良い」(48.1%)を合わせると、93.8%の人が“住み良い”と評価しています。

「住み良い」の割合は今回が93.8%、前回は91.5%で、“住み良い”の評価は2.3%増加しています。

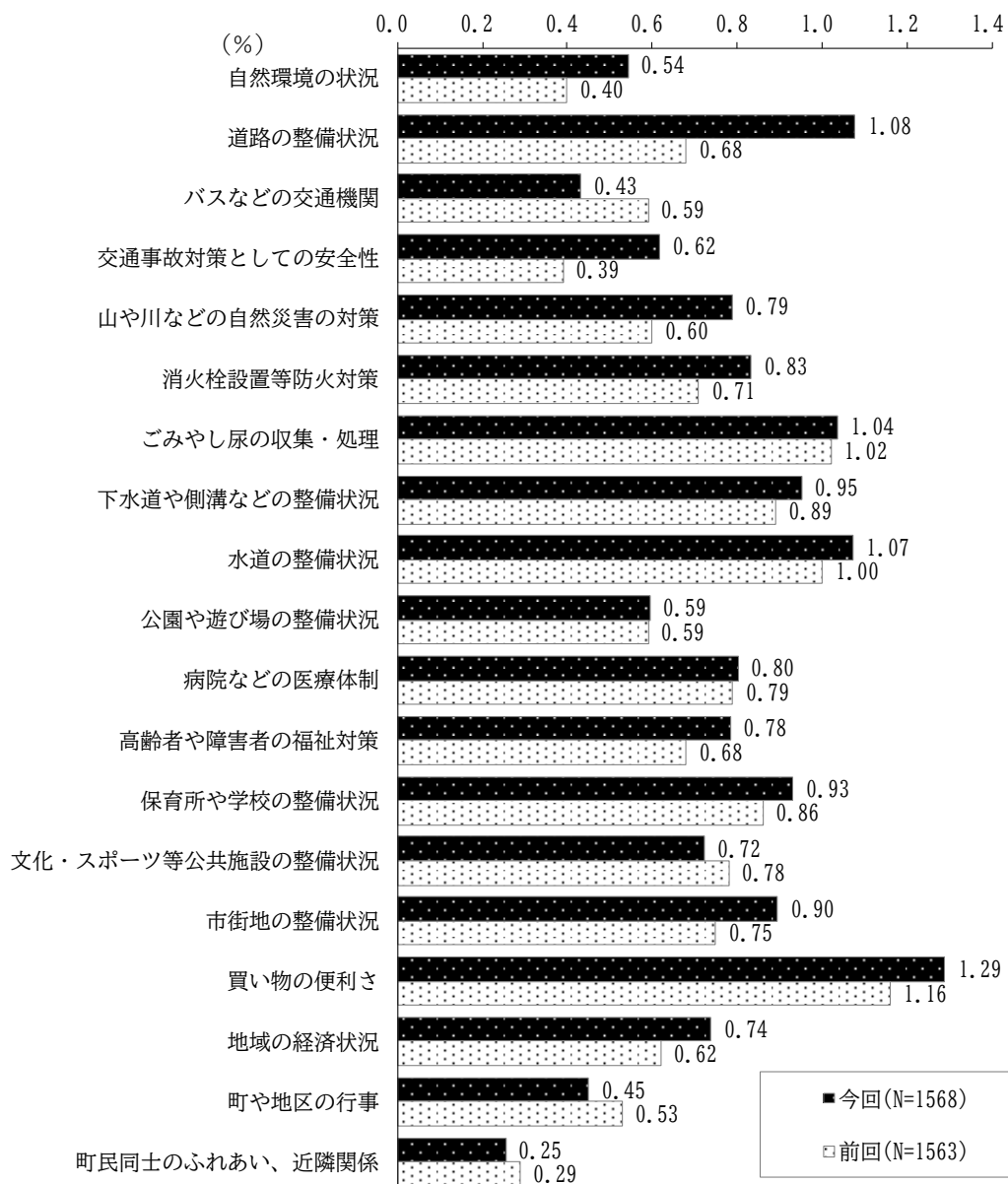


③ 地域の状況の変化

地域の状況の変化については、前回調査時から増加したのは“道路の整備状況”(+0.40)、次いで“交通事故対策としての安全性”(+0.23)となっています。一方、減少したのは“バスなどの交通機関”(-0.16)、“町や地区の行事”(-0.08)となっています。

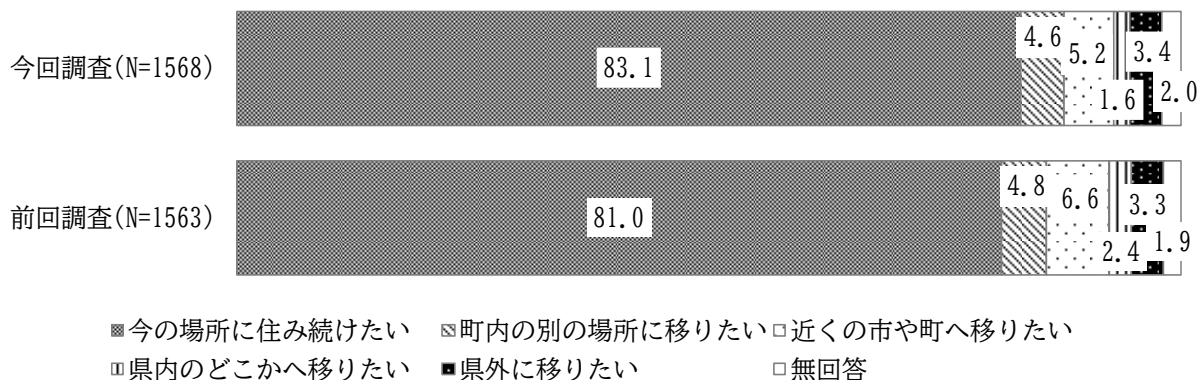
得点

$$= \frac{\text{「かなり良くなった」} \times 2 + \text{「やや良くなった」} \times 1 + \text{「やや悪くなった」} \times (-1) + \text{「かなり悪くなった」} \times (-2) + \text{無回答} \times 0}{\text{総サンプル数}}$$



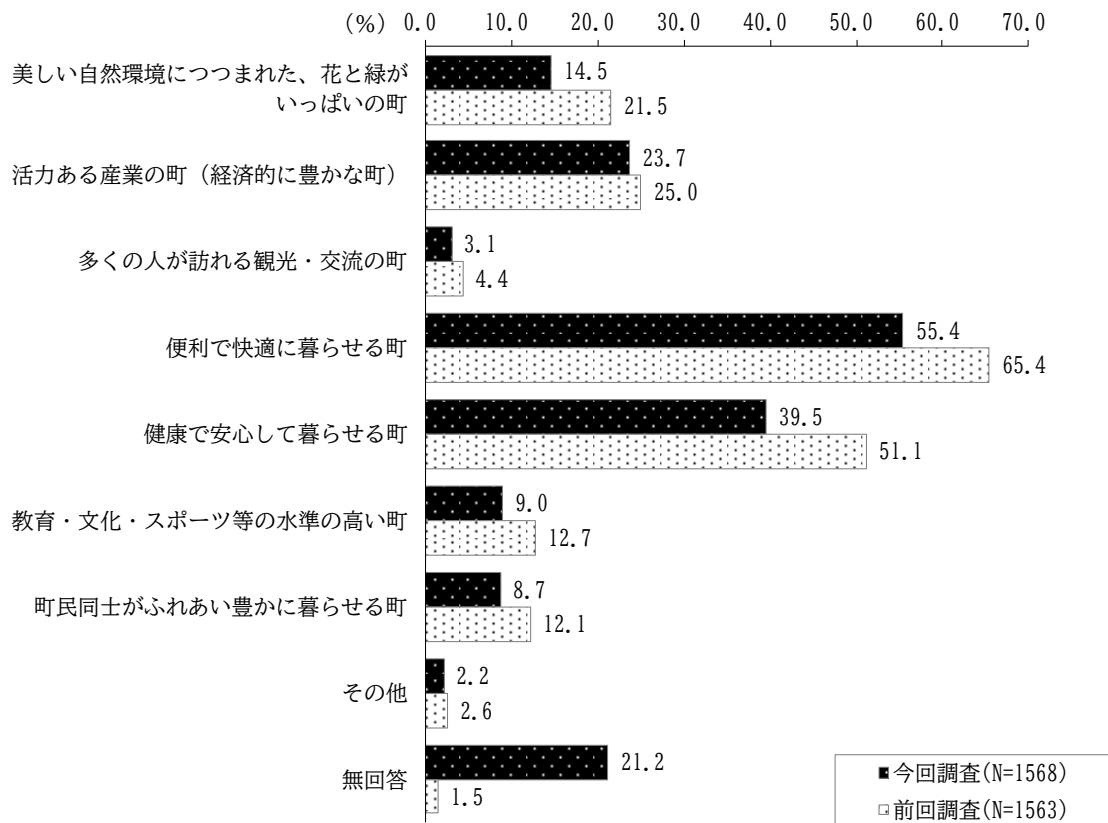
④ 定住意向

定住意向については、「今の場所に住み続けたい」と回答する人が83.1%を占めています。前回の81.0%から2.1%増加しています。



⑤ 望む町の将来像

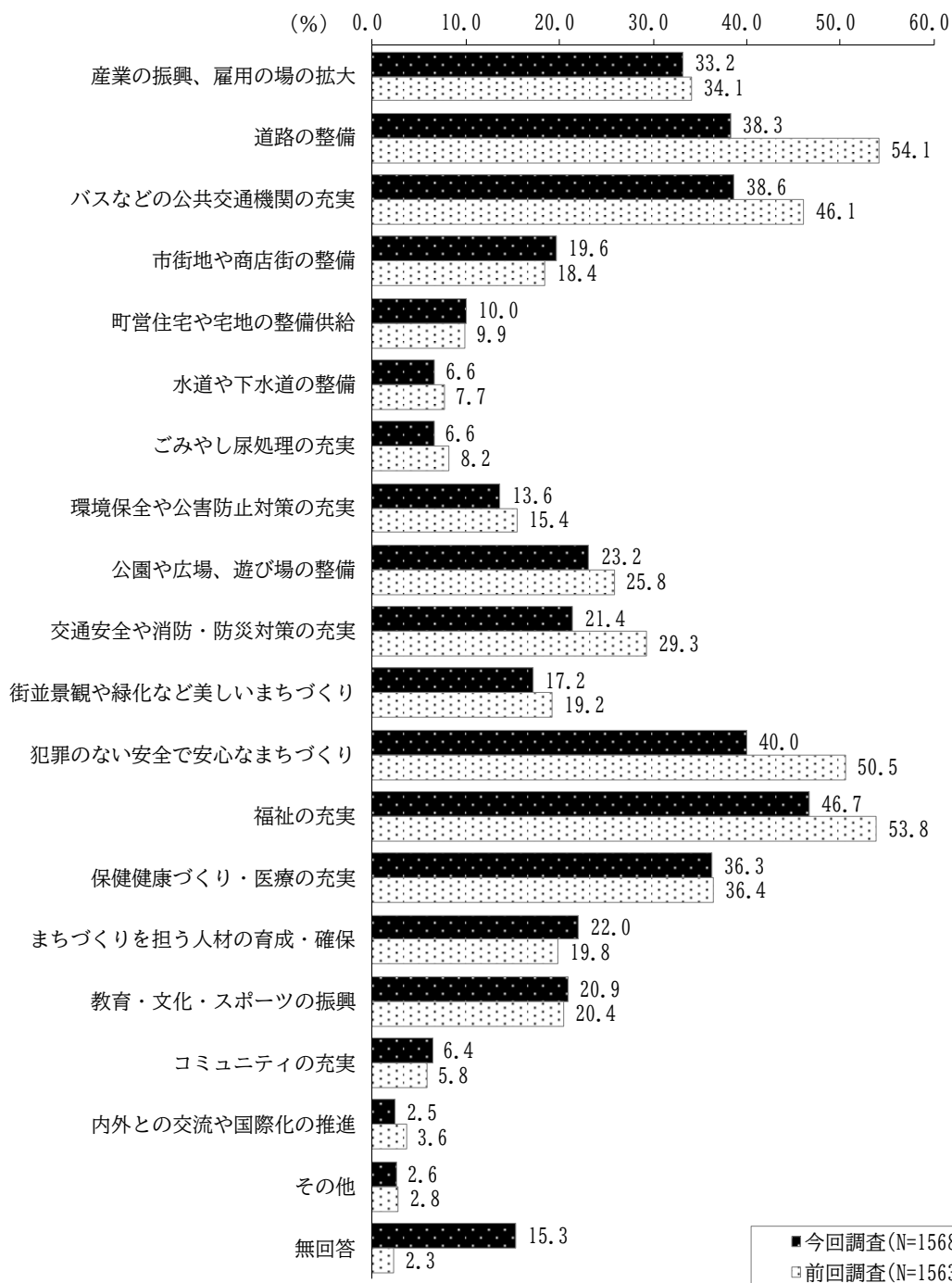
将来の時津町に望むイメージについては、「便利で快適に暮らせる町」が55.4%で最も高く、ついで「健康で安心して暮らせる町」が39.5%となっています。前回と比較して順位に変動はありませんが、「便利で快適に暮らせる町」が10.0%、「健康で安心して暮らせる町」が11.6%とそれぞれ大きく減少しています。



⑥ 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野については、1位が「福祉の充実」(46.7%)、2位「犯罪のない安全で安心なまちづくり」(40.0%)、3位「バスなどの公共交通機関の充実」(38.6%)でそれぞれ前回から順位が1つ上がっており、前回1位の「道路の整備」が15.8%減少して順位は4位に下がっています。

また、「道路の整備」をはじめ、「福祉の充実」が7.1%、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」が10.5%など上位の項目で割合が減少しています。



第6次時津町総合計画

まちづくり住民アンケート調査結果

報告書

令和7年1月

〒851-2198 長崎県西彼杵郡時津町浦郷 274-1

電話（代表）：095-882-2211